

資料編

資料1:「C-EMS レター」	105
(重点施策32 庁内の環境意識の向上(本編 91 ページ))	
資料2:市民等を対象とした環境に関する事業	130
(重点施策34 意識啓発・人材育成(本編 95 ページ))	
資料3:公民館等における環境に関する講座等の実施状況	133
(重点施策34 意識啓発・人材育成(本編95ページ))	
資料4:環境市民会議「ちがさきエコワーク」の活動状況	136
(重点施策35 現在活動している市民や市民団体、事業者による環境保全の取り組みの支援(本編 97 ページ))	
資料5:スクールエコアクション報告書	146
(重点施策37 学校における取り組みの支援(本編 102 ページ))	

第9号

C-EMS レター



環境フェア:「おもいの木」
みなさんの想いが咲き誇りました

平成24年7月23日発行
発行元 C-EMS 事務局 (環境政策課)

主な記事 ☆ C-EMS 平成23年度取組結果
☆ C-EMS 課内研修について

C-EMS平成23年度取組結果!

平成23年度の取組結果がまとまりましたので、お知らせ致します。

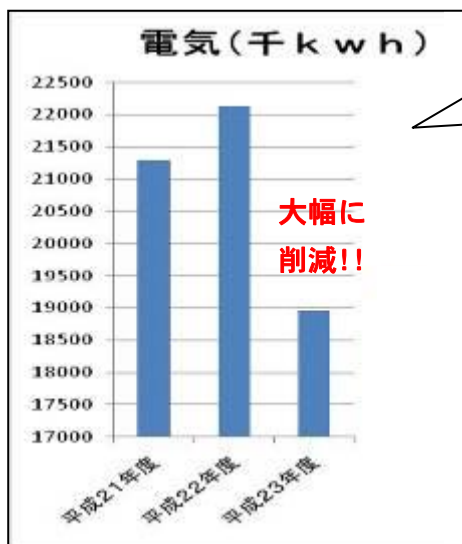
なお、各課かいに作成いただいた「環境活動ふりかえり表」は全てホームページで公表いたしますので、他の課かいの取組も是非参考にしてください。

(1) 取組結果について

	必須目標	目標設定者
1	電気使用量の削減のための取組	全ての課かい
2	ガス、灯油、LPガス、ガソリン、軽油使用量削減のための取組	管理している課かい
3	資源・エネルギーを使わない業務体質の転換(紙、水、ガソリン、リサイクルなどから1つ以上)	全ての課かい

数値目標	取組結果
<p>前年度比1%削減</p> <p>長期目標:平成21年度から平成26年度で 平成21年度比5%削減</p>	<p>前年度比13.5%削減</p> <p>目標達成!!</p> <p>(21年度比10.3%削減)</p>

1 電気使用量削減のための取組について



昨年度は、夏の冷房のピーク時停止、照明の間引き、各職場に節電計画を出してもらい、**節電に取り組んでもらった効果が大きく出ました!!**

消防本部警備課では、**スイッチオフ運動**を徹底し、前年度比**17%**も削減しました!

フラボー!!



ただ、必要以上に電気を使用していたことも分かり、見直すきっかけにもなりました。**これからも、引き続き、節電に取り組みましょう!**



前年度比 14.3%削減 (目標達成)

☆各課かいの取組としては、単に電気を使わないように配慮するだけでなく、業務の効率化を図る「**事務改善**」的な取組みが多く見られました。（ノー残業デーの実施、省エネ会議の推進等）

☆庁外施設では、照明や、適切な室温管理を小まめに行うことはもちろん、**施設利用者への協力依頼**も行っている施設が多くありました。

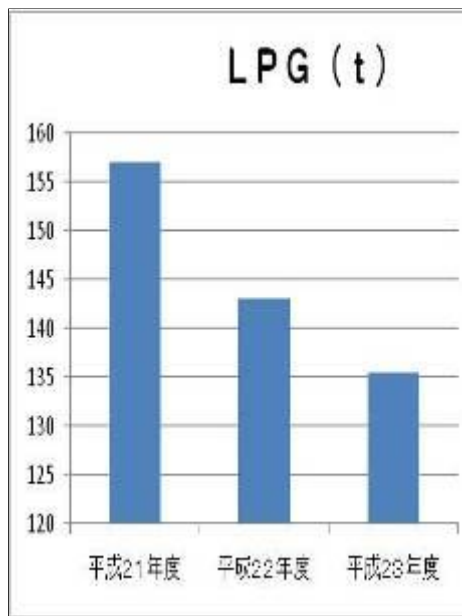
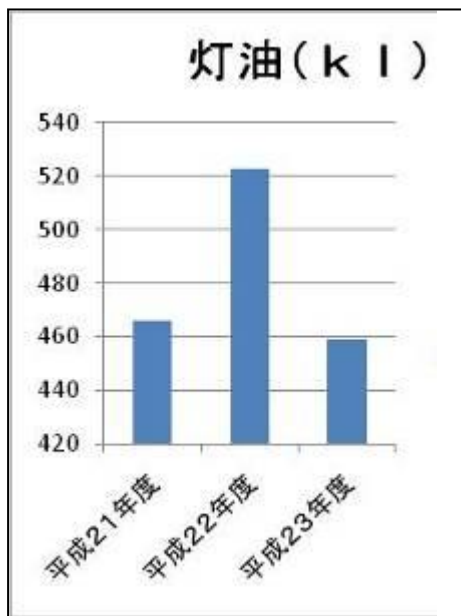
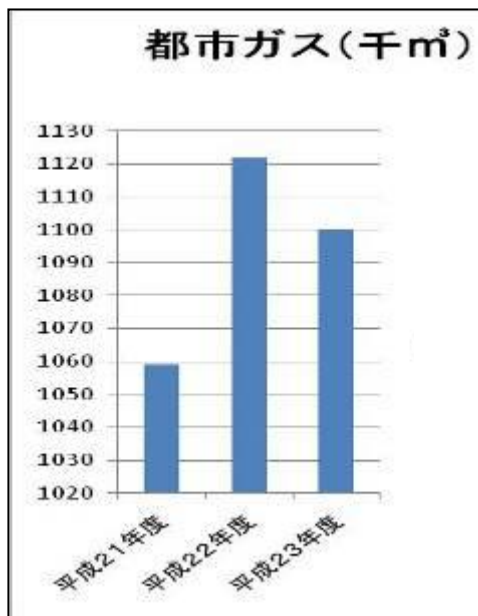
事務改善をすることで、電気を使わないよう工夫をしていますね！



ノー残業デーの実施	
取組成果	メリハリのある業務の遂行、健康管理
優れた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・17:30以降の事務所の消灯を徹底して行い、残業時間の軽減を行った（都市計画課） ・ノー残業デーシートを作成し、実施状況を把握する（環境政策課） ・個人別時間外目標を設定してもらい、その実績を報告し、目標管理を行う。（市民課） ・水、金の週2回ノー残業デーを目標にしている課が複数ある。

省エネ会議の実施	
取組成果	会議時間の短縮
優れた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・会議資料の精査及び、事前配布をする ・会議所要時間の事前周知 ・可能な限り情報共有を回覧等で行い、勤務時間中の会議の回数を抑制した。 ・時間外における研修会等は主に事務室で行い、会議室の利用を削減。短時間での実施。 ・窓口に支障のない範囲で勤務時間内での課内会議の実施

2 ガス、灯油、LPガス、ガソリン、軽油使用量削減のための取組について



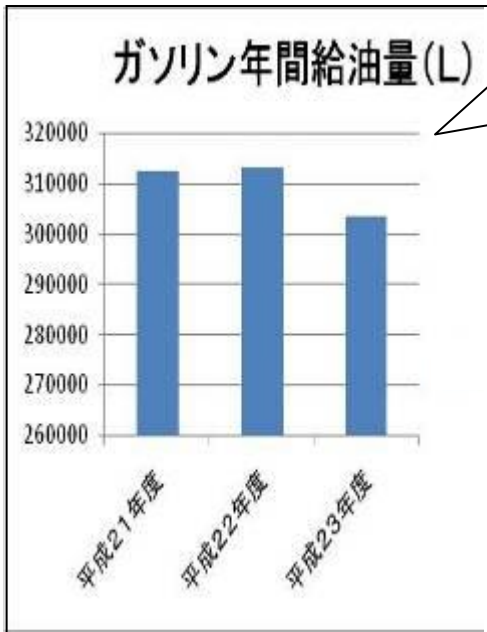
前年度比 1.9%削減（目標達成）

前年度比 12.2%削減（目標達成）

前年度比 5.2%削減（目標達成）

・長時間使用しないガス湯沸かし器の口火消火が徹底されています
 ・施設利用者及び指定管理者への協力依頼もされています。





前年度比 3.1%削減 (目標達成)

軽油

前年度比 14.3%増加 (目標未達成)

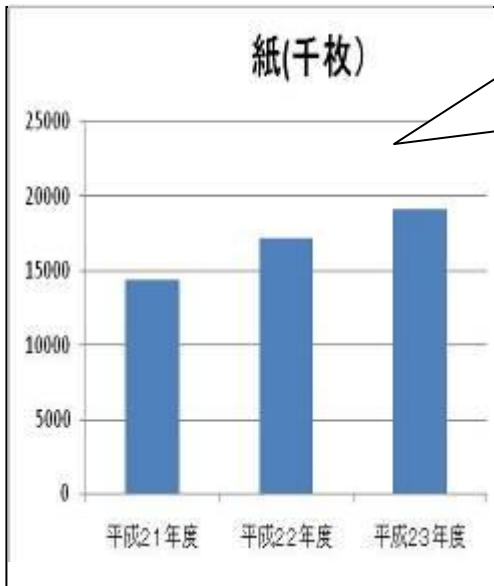
※一部車両で使用



- ・ **エコドライブ**が浸透しています。
- ・ 徒歩、自転車の利用促進 (特に庁外施設では、**自転車利用**が積極的に行われています。)
- ・ **公共交通機関の優先利用**を心がけている課が多くあります。
- ・ 買い替え時の低公害車の導入も進んでいます。

エコドライブの実施	
取組成果	余裕を持った移動時間の設定が定着し、ゆとりのある運転により安全性が向上。
優れた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公用車を利用する場合は本当に必要かどうか考え、使用する際は最短ルートで運行している。(広域事業政策課) ・ 課内での研修を開催し、エコドライブの基本的な知識、具体的な取り組みを学ぶことにより、適正な自動車利用、自転車や交通機関の利用の意識付けができた。(道路管理課) ・ やむを得ず車を利用する際も、電気自動車・ハイブリッド車の利用を検討する。(文化生涯学習課)

3 資源・エネルギーを使わない業務体質の転換 (紙、水、ガソリン、リサイクルなど) について



前年度比 11.2%増加 (数値目標無し)

- ・ 裏面利用、両面印刷、2アップ印刷は浸透しています。
- ・ **会議資料の削減**を目標にしている課が多く見られます。
- ・ **ミスの防止**を目標にする課が多く見られます。
- ・ **資料の共有化、文書を電子化して共有化**する課がい多くみられます。

会議資料の削減	
取組成果	会議のポイントが明確になる
優れた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議資料をイントラに掲載し、資料の削減に努めた。(環境政策課) ・ 会議ではパワーポイントを活用し、資料を削減した。(環境政策課)

増加しています!!

ちがき真珠 道の精進
えぼし麻呂&ミーナ



ペーパーレス会議ができるよう、施設整備を検討するぞよ!

紙資料を電子化すると、事務スペースも広くなり、お仕事も捗りそうですね！



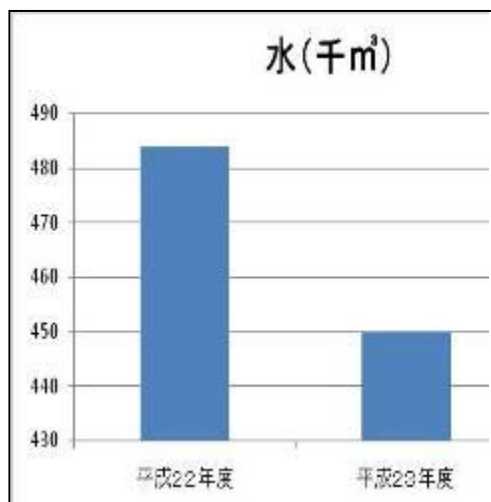
まだ実施していない取組があったら、マネしちゃおう!!



資料の共有化・電子化	
取組成果	保管スペースの削減、資料の紛失防止、追加印刷防止
優れた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・情報等をパソコンのファイルサーバーで管理し情報の共有化。 ・紙出力やコピー添付が常態化している業務の点検、見直しを推進。また、業務マニュアルなど紙ベース資料等の共有化。（保険年金課） ・不要な書類・共有化すべき書類の明確化と文書の保管・設置場所の工夫により、用紙の無駄な追加印刷を防止。（環境事業センター） ・供覧文書の電子化、所内会議のレジメにグループウェアを使用する等、業務体質の改善を行った。（小出支所） ・勤務表、当直日誌、訓練実施、機関運用簿の電子文書化要領作成に向けた取り組みが順調に進んでいる。（警備課）

☆その他、紙使用量の削減については多くの優れた取組が報告されましたので、ご紹介します。

優れた取組
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の用紙使用枚数上限を定め、使用状況の検証結果を課員に報告した。各課員が一層の削減を意識して業務に取り組んだことにより、用紙削減に一定の成果を得ることができた。（秘書広報課） ・計画冊子等の在庫を最小限に留め、必要に応じて増刷することで、用紙使用量の抑制と保管スペースの削減を達成した。（企画経営課） ・ポスターについては、昨年の残数を踏まえ、発注を行い、ほぼ順調である。（産業振興課） ・主催事業のチラシの小型化を図った結果、紙の使用量を削減することができた。（青少年会館） ・ミスプリント等を防止するため、原稿を印刷プレビュー等で印刷前に再確認する。



前年度比7%削減（数値目標無し）



雨水貯留タンクを設置している施設が増加しています。まだ設置していない施設は検討してください。

優れた取組
<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー教育（香川保育園） ・手洗いの手順を知らせ、水の出っぱなし防止（鶴が台保育園）

※平成22年度より管理施設が増加したため、21年度のグラフは掲示していません

リサイクル



☆リサイクルの推進を目標に設定する課がいも多く見られました。

優れた取組

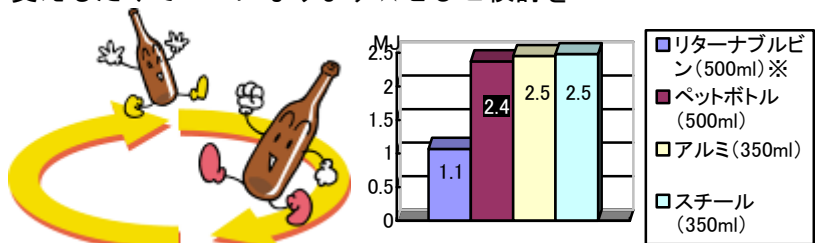
- ・退庁時にゴミ箱等を点検し、廃棄文書のリサイクルの可否を徹底。(会計課)
- ・紙ファイルを裏返しての再利用を徹底している。(安全対策課)
- ・紙に関しては、**情報が流出してはいけない部分を切り取り処理した後更にメモなどに裏紙使用**し、リサイクルへと分別している。(保育園)
- ・リサイクル資料の提供機会を増やす：市民向けブックリサイクル(毎月)の実施や、公民館や他課への**リサイクル図書**の提供の継続、幼稚園・保育園・小学校へのリサイクルフェアを実施。(図書館)

環境政策課で**ガラスの貸出**をしています！お気軽にご連絡ください☆

ちょこっとご提案☆

会議にはリターナブルビンのお飲み物を！

市民や学識経験者を交える会議でお出しする飲み物は**ビン入り**の飲み物にしてみませんか？実はこれ、ある審議会の委員さんから言われた一言です。環境政策課では前々から**リターナブルビン**でのウーロン茶をお出ししていますが、もっと庁内でこのようにしてほしいとのお声をいただきました。**リターナブルビンはほかの飲料容器に比べ半分以下のエネルギー消費量**です。少し選択を変えるだけでエコになります☆ぜひご検討を！



※リターナブルビンは平均回転数を25回とし、総消費量を回数で割った一回使用あたりのエネルギー消費量です。
 出展：平成16年度容器包装ライフ・サイクル・アセスメントに係る調査事業報告書(平成17年3月)財団法人政策科学研究所 http://www.env.go.jp/recycle/yoki/c_3_report/pdf/h16_lca_chousa_honpen.pdf

不用になった物を「ごみ」に出すのではなく、「資源」として有効利用することリサイクルはとても大切です。さらに、物を大切に、**繰り返し使う(リユース)**にも着目し、資源を大切にすることも積極的に取り入れましょう！

その他

☆その他にも、環境に配慮した優れた取組が多く報告されましたので、ご報告します。

優れた取組

- ・職場の**整理整頓**と**情報の共有化**の推進。(多くの課で見られました)
- ・物品等の**在庫管理**をし、ムダをなくす。(農業水産課)
- ・定期的に**朝礼時などで意識啓発**を行い、「各自の整理整頓、職場内の書類整理を職員一人一人が意識し履行する。」等に心がけた。(契約検査課)
- ・職場の**導線及びレイアウト変更**。(用地管財課)
- ・イベント等を通じて**市民にも省エネ等について啓発**している。(多くの課で見られました)

(2) 研修について

C-EMS目標設定研修や、異動者・新任研修だけでなく、独自の研修が多く報告されましたのでご紹介します。

参考になる研修が沢山あるぞよ。みなさんの課の研修にも取り入れるぞよ☆



環境全般的な研修

- ・ **他市のエコオフィスの取組事例を取り上げ**ながら、学務課で取り組んでいる両面コピーや情報の共有化の推進などについて話をした。(学務課)
- ・ 職場環境教育 (契約検査課)
- ・ 環境保護意識啓発研修 (行政総務課)
- ・ 茅ヶ崎市環境マネジメントシステム活用研修 (職員課)

テーマを絞った研修

- ・ **用紙の使用量削減**研修 (公園緑地課、秘書広報課)
- ・ 年度当初の事業者への周知に関する研修 (道路建設課)
- ・ 認識を再確認するための研修 (財政課)
- ・ 契約書等における環境配慮事項の記載についての研修 (文化生涯学習課)
- ・ ゲンコツ宣言書の遵守 (用地管財課)
- ・ エコドライブの基本の習得と取り組みについて (生活支援課)
- ・ 日常業務におけるエコ活動 (文書法務課)
- ・ **下水道事業と水環境** (下水道河川建設課)
- ・ 省エネ行動を実行するための知識や具体例に関する環境教育 (教育施設)
- ・ 節電対策研修 (多くの庁外施設)

課の業務に即した研修も行われています！

研修ハテナ? ~Q&A~

Q1: みなさん研修はいつ行っているの?

A1: 研修時間を取るのが難しい課かもあるかと思います。**朝礼や打合せ、課内会議の場**で随時認識を深めるよう話し合いをしている課が多くありました。毎日行う朝礼の時間に、月ごとに特に力を入れたいエコ活動についてお話してもらおうのも1つですね。

Q2: 研修材料に困るのですが・・・

A2: イン트라ネットの環境政策課のページでは、「**C-EMS 活動に役立つ情報発信コーナー**」があります。そこに、「**研修に使えるデータ集**」がありますので、ご活用下さい。随時更新し、内容も充実させて参ります!

Q3: 研修課題について**環境部局より出前講座**などがあると担当者の意識向上につながると思うのですが。

A3: 要望にお応えできるよう、体制を検討いたします。

2012. 7月号

C-EMS

C-EMS レター 第10号

平成24年7月23日発行
発行元 C-EMS事務局 (環境政策課)

主な記事 ★各部局環境活動スローガン
★ちょこエコの実施について
★節電強化月間の実施について

C-EMSでは毎年部局ごとに環境活動スローガンを策定し、そのスローガンに沿った内容で一年取り組みます。今年も昨年度に引き続き、スローガンが策定されましたので、ご紹介いたします。

こちらは、仮設庁舎一階に市民の皆さんに見える形で掲示し、各部局の意気込みを公開しています。

平成24年度 「各部局環境活動スローガン」完成

【総務部】

エコな気持ちでワーク&ライフ!
・人も機器もON・OFFの徹底を!
・ゴミ箱からの紙ゴミの一扫を!

【企画部】

「省エネ・省資源も経営感覚もって
推進、最小の経費で
最大の効果を追求しよう

【財務部】

スイッチOFF
節電ON
エコ意識で経費節減!

【市民安全部】

市民の安全・環境づくり
一人ひとりが減CO2(ゲンコツ)
チャレンジャー

【経済部】

見直そう仕事の仕方!!
実現しよう週2回のノー残業デー

【文化生涯学習部】

みんなで 節電
湘(省)エネ 茅ヶ崎

【保健福祉部】

喜びます 空の青さを!
感謝します 街の灯りに!
見つめます あなたの生き様を!

【こども育成部】

笑顔かがやく未来へ
グリーン、グリーン、リサイクル
きれいな職場づくり
～リサイクルの徹底!

【環境部】

気づかいで 減らせる エネルギー
ちょっとした意識で 増やせる 資源物
使用電力の節減、ごみの分別徹底などを推
進し、エコオフィス活動を目指します!

【都市部】

低炭素都市づくり
三步目からは
初心に戻ってエコオフィスは
一人一人のところがけ



(写真)
掲示風景 (仮設庁舎 1F)

<p>【建設部】</p> <p>若い力で、創造力と行動力の まちづくり</p>	<p>【下水道河川部】</p> <p>つなかれ暮らし 水の道！ ～水循環水環境で快適なまちづくり～</p>	<p>【消防本部】</p> <p>環境も 指差し確認 1・2・3！！</p>
<p>【会計課】</p> <p>分別を 進めてゴミ箱 減量化 ☆資源のリサイクルを進め、ゴミの 減量化を図ろう☆</p>	<p>【議会事務局】</p> <p>仕事はアクティブ、パワフルに！ でも、資源利用は 環境に優しく控えめに！</p>	<p>【選挙管理委員会事務局】</p> <p>整理整頓で職場環境も最適化 ～いつでもスタンバイ～</p>
<p>【監査事務局】</p> <p>ちょっとしたことから大きな効果を！ ～裏面利用と両面印刷、 使ったメモ紙も大切な資源～</p>	<p>【農業委員会事務局】</p> <p>事務室の整理・整頓で 環境に一役</p>	<p>【教育総務部】</p> <p>「みんなで考え、みんなで始めよう！」 環境への思いやりは 未来への贈りもの</p>

【教育推進部】

「Eco オフィス宣言」

～徹底省エネで未来を築く～
クライとクライと嘆かずに 進んで未来に輝きを！！
照明もパソコンもちろん車の運転も
みなエコドライブで！！」

昨年度から引き続き同じスローガン掲げる部局（6部局）や、新たな目標を設定した部局（14部局）などそれぞれです。各部局にオリジナリティーを感じるものが多く、ユニークですね。



今日から実践！

ちょこっとご提案☆

お弁当購入時はノーレジ袋で！



(写真)

分庁舎4階のお弁当売り場：レジ袋が使われています。

みなさん！お昼のお弁当を買う時、もしかしてレジ袋に入れてもらっていませんか？
レジ袋は、1枚当たり、60g※のCO₂を排出します。

職員1人が毎日のお弁当購入時、レジ袋を辞退すると…年間約14.7tのCO₂が削減できます！（1枚当たりのCO₂排出量60g×1000人×245日で計算）

さあ、今日からお弁当購入時はレジ袋を辞退しましょう♪ 普段のお買い物でも、マイバッグを持参し、環境にやさしい生活スタイルにチェンジしよう♪

※化石燃料からできた袋そのものを燃やしたときに出るCO₂と、袋を加工するエネルギーを生み出す際に出るCO₂を足し合わせたものです。

7月~9月は

節電強化月間



みんなで
取り組もう!

今夏、茅ヶ崎市では使用電力のピーク時（13時から16時）に可能な限りの節電に取り組めます。

節電対策として市役所（本庁舎・分庁舎）では照明の間引きに加えて、庁舎フロアをグループ分けし、**使用電力のピーク時にグループ毎1回あたり15分間の冷房停止を2回実施**します。

実施期間：平成24年7月2日（月曜日）から9月28日（金曜日）

本庁舎及び分庁舎以外の施設でも、照明の間引きと空調機の28度設定などの取り組みを行います。

毎日の電気使用量を公表します！

市役所（本庁舎・分庁舎・仮設庁舎）で消費した電力を計測し、ピーク時の最大使用電力（1時間あたり）と使用電力量（0時から24時までの使用電力量）をHPで公表します。

C-EMS 14-第9号の取組結果でもお知らせしましたが、ノー残業デーは、節電になることはもちろん、**メリハリのある業務の遂行による業務の効率化や、健康管理**にも波及効果があります。

特に夏場の残業は冷房が付かず、不快な環境で業務効率も下がりますし、体調を崩しかねません。

残業をしなくても良いようにスケジュール管理をしっかりと行い、業務時間内に効率的に業務をこなすよう、努めましょう。

★ノー残業デーを推進するための取組をご紹介します★

- ・ **17:30以降の事務所の消灯**を徹底して行い、残業時間の軽減を行った（都市計画）
- ・ **個人別時間外目標を設定**してもらい、その実績を報告し、目標管理を行う。（市民課）
- ・ **ノー残業デーシートを作成**し、実施状況を把握する（環境政策課）

各課かいで**ノー残業デーを1日以上定め**、取組例を参考に、強化月間のノー残業デーの徹底にご協力をお願いします！

ノー残業デーシートをイントラにアップするので活用してくださいね。



その他、離席時にノートパソコンのふたを閉じる、不要な照明を消す、エレベーター利用の自粛、使用していない電子機器のコンセントを抜く、などのこまめな節電は継続して続けてくださいね★

節電強化月間の「ちょこエコ★」
ノー残業デーを徹底しよう

市の精進
えぼし麻呂 & ミーナ



C-EMS レター

第11号

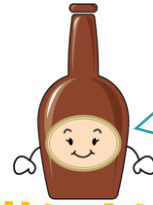
平成24年9月10日発行 発行元：C-EMS事務局（環境政策課）

できることから
取組もう！

環境にやさしい

リターナブルビン

入荷しました！



分庁舎1F
売場で
販売中！

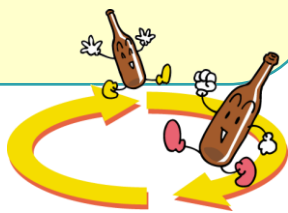
市では、現在 80 を超える審議会等があり、多くの会議で出席者にペットボトル入りの飲料をお出ししています。その数は年間 2000 本以上にも及びます。（平成 24 年 8 月庁内調査結果より）これだけのペットボトルの製造、リサイクルには沢山の資源・エネルギーが使われ、沢山の CO₂ を排出します。また、資源物の回収処理費用に膨大な税金も投入されています。

そこで、今日からエコチェンジ！！環境に最もやさしい容器と言われている「リターナブルビン」入りの飲料をお出ししてみませんか？

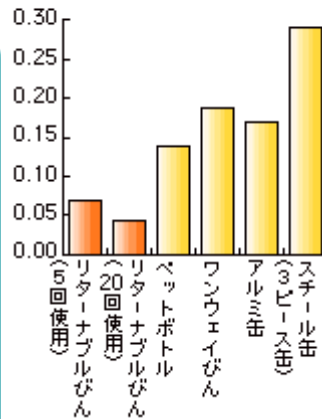
リターナブルビンとは？

洗浄して繰り返し使用出来るビンのことです。回収されたびんは、洗浄・殺菌を経て再び中身が詰められ、繰り返し使われます。ごみにならず、原料や製造エネルギーの節約、CO₂の発生抑制にもなります。

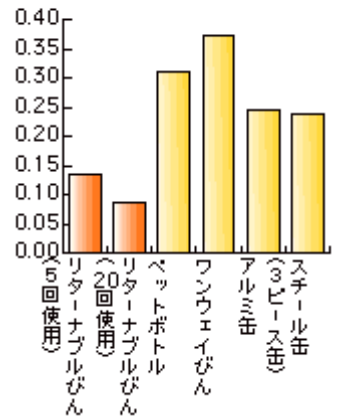
製品の原料採取から廃棄・リサイクルまでの全過程で環境に対する影響を評価する手法、ライフサイクルアセスメント（LCA）の研究（東京大学生産技術研究所・安井至教授の研究）によると、地球温暖化物質及び大気汚染物質の発生量、エネルギー及び水資源の消費量共に、スチール缶、アルミ缶、ペットボトル、ワンウェイのガラスびんよりも少ないことが判っています。 右図参照。



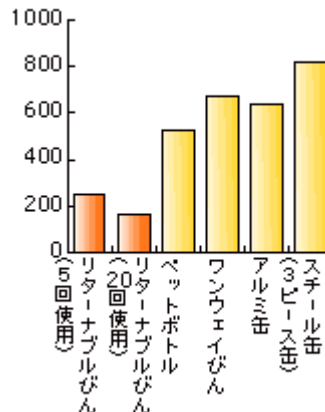
地球温暖化物質
CO₂(二酸化炭素)発生量 (kg)



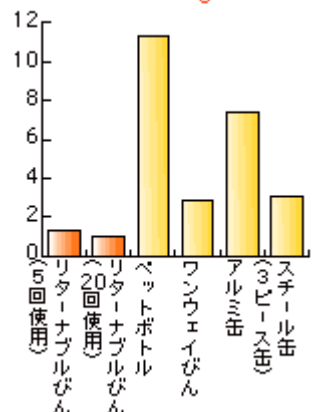
大気汚染物質
SOx(硫黄酸化物)発生量 (g)



エネルギー消費量 (Kcal)



水資源 (kg)



3R+1R=4R ECO

みなさん、3Rはもうご存知ですね？ごみを減らし、循環型社会を構築していくためのキーワードが「3R」です。茅ヶ崎市では、3R+1Rの4Rを推進していることをご存知でしょうか。

(環境基本計画 2011年版重点施策)

- 1 Refuse (リフューズ) → 1R
 - 2 Reduce (リデュース) } 3R
 - 3 Reuse (リユース) }
 - 4 Recycle (リサイクル) }
- 4R

リサイクルが注目されがちだが、実はごみになるものを出さないことが大切なのじゃよ。

4Rは、順番が大切です



①まず、要らない物を買わない、断る (Refuse)

- チェック：□買い物時はマイバッグを持って行っていますか？
- 過剰包装は断っていますか？

②次に、ごみの排出を減らす (Reduce)

- チェック：□使い捨てものではなく詰め替えできる製品を買っていますか？
- 必要な量だけ買っていますか？

Point!

③次に、使えるものは何回も繰り返し使う (Reuse)

- チェック：□何度も使える容器を使った物を買っていますか？(例：リターナブルビン)
- 使わなくなった物は人に譲ったり、リサイクルショップやフリーマーケットに出していますか？

④最後に、使えなくなったら原材料として再生利用 (Recycle)

- チェック：□リサイクルできるものは分別方法に従って資源物として排出していますか？

⑤リサイクルにも出せない物だけが「ごみ」として排出されます。



↑ 環境審議会での様子

環境審議会、温暖化対策推進協議会（環境政策課）、みどり審議会（景観みどり課）では、リターナブルビンをすでに導入しています。選挙管理委員会定例会等では、茶器にて提供しています。みなさんの課かいても会議等でお茶をお出しする際は、環境にやさしいリターナブルビン入り飲料または茶器での提供を宜しく願います。

勤務時間中の飲み物もマイ水筒、マイカップを持参しよう！



第12号

C-EMS レター



平成24年12月3日発行
発行元 C-EMS 事務局（環境政策課）

☆ 今冬の節電対策 P.1~P.4
☆ C-EMS 部局環境活動スローガンに込めたチーフマネージャーの思い P.5~P.8

今冬の節電対策

◎今夏の節電対策結果について（7~9月）
平成22年度比 **29.6%削減**（本庁舎・分庁舎・仮庁舎）
～みなさんのご協力ありがとうございました～

＝ 概要 ＝

今冬の節電については、11月2日、国の電力需給に関する検討会合（第9回）・エネルギー・環境会議（第16回）合同会合において、「冬の電力需給対策」が審議され地域ごとの需給見通しや対策の基本的考え方、及び事業者・家庭向けの節電メニューが示されました。これによれば、今冬の電力需給の見通しは、厳冬となることを想定した上で、いずれの電力管内でも瞬間的な需要変動に対応するために必要とされる予備率3%以上を確保できる見通しであるが、火力発電所等の計画外停止が発生するリスクがあり、予断を許さない状況であることに留意すべきとされました。

その結果北海道電力管内においては7%以上の節電数値目標が定められ、それ以外の地区（沖縄電力管内を除く）については「数値目標を伴わない節電」を次のように要請されました。茅ヶ崎市は東京電力管内に該当します。

＝節電をお願いしたい期間・時間・節電目標＝

＜ 東北・東京・中部・北陸・関西・中国・四国・九州電力管内の場合 ＞

期間・時間：12月3日から3月29日までの平日、9時から21時（九州電力管内については8時から21時）までの間

節電目標：「数値目標を伴わない」一般的な節電要請をするが、需要家に対して節電の確実な実施を促すため、政府の見込んでいる定着節電値を目安*として示す。』とされており、引き続き、無理のない範囲での節電へのご協力をお願いします。

※ 政府が見込んでいる定着節電値：平成22年度比で▲5.0%



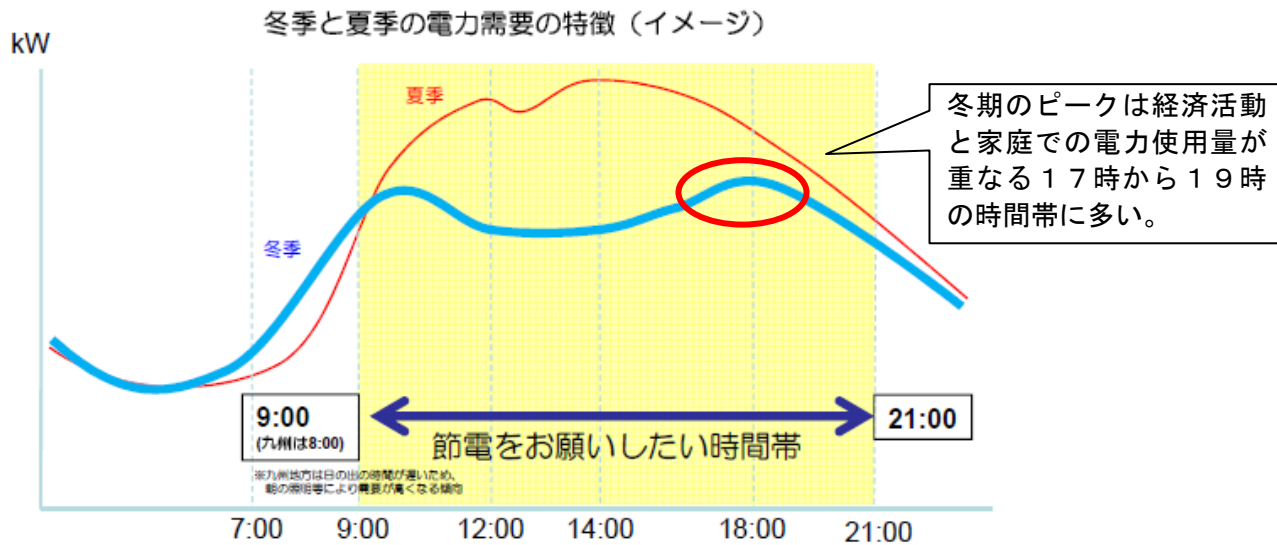
12月 は 地球温暖化防止月間！

茅ヶ崎市・藤沢市・寒川町の「湘南エコウェーブ」プロジェクトでは12月を地球温暖化防止月間とし、次の取組を市民の皆さんに呼びかけています！職員のみなさんも率先して取り組みましょう！

- ① 二酸化炭素削減に向けた「車のアイドリングストップ・ノーカーテイ」の推進
- ② 電気使用量削減のための「イルミネーションライトダウン」
- ③ 「レジ袋削減・マイバッグ持参」

◎冬季の電力需要の特徴

- ①冬季のピークは、夏季（14時頃）と異なり、朝・夕を中心に長時間となる傾向。
- ②夏季に比べ、夜の需要が下がりにくく、昼夜の差が小さい。

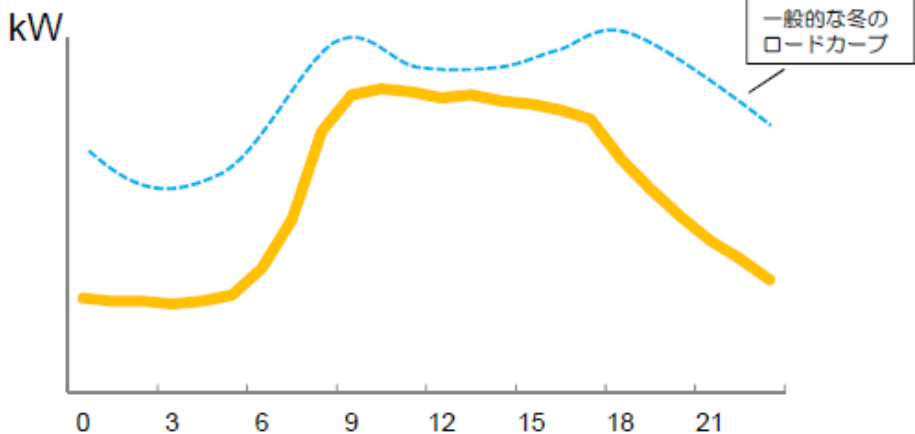


出典：冬季の節電メニュー（事業者の皆様へ）平成24年11月経済産業省

◎オフィスでの電力消費の内訳（冬季のピーク時断面（例））

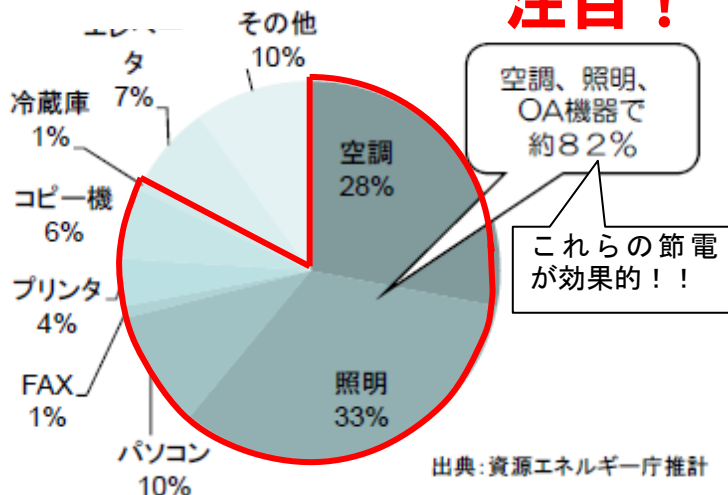
- ・オフィスでの電力消費のうち、空調用電力が約28%、照明が約33%、OA機器（パソコン、コピー機等）が約21%を占めます。
- ・これらで電力消費の約82%を占めるため、これらの分野における節電対策が効果的です。

※エアコン等の電気による暖房を中心とするオフィスビルにおける用途別電力消費比率



による暖房を使用するビルにおいては、館暖めるため、午前中にピークとなります。

注目！



こまめな消灯、ノーマル作業の徹底、電気ポット使用自粛（コンセントを抜く）、PCのふたをこまめに閉じるなど、みなさんのこまめな行動が冬の節電の鍵です！

= オフィスでの節電対策 =

次のアクションを参考にして、空調、照明、OA機器の3つの節電対策を重点的に取り組みましょう！

5つの基本アクションをお願いします		建物全体に対する節電効果	実行チェック
照明	・執務エリアの照明を半分程度間引きする。	8%	<input type="checkbox"/>
	・使用していないエリア（会議室、廊下等）は消灯を徹底する。	3%	<input type="checkbox"/>
空調	・テナントは空調のスイッチを切り、オーナーはビル全体が適切な温度になるように調整を行う等、適切な温度管理を行う	4% <small>(3℃下げた場合)</small>	<input type="checkbox"/>
	・使用していないエリアは空調を停止する。	1%未満	<input type="checkbox"/>
OA機器	・長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。	2%	<input type="checkbox"/>
さらに節電効果が大きい以下のアクションも検討してください			
空調	・室内のCO ₂ 濃度の基準範囲内で、換気ファンの一定時間の停止、または間欠運転によって外気取入れ量を調整する（外気導入による負荷を減らすため）。	4%	<input type="checkbox"/>
	・夕方以降はブラインド、カーテンを閉め、暖気を逃がさないようにする。	1%	<input type="checkbox"/>
	・熱源機（ガス熱源は除く）の温水出口の温度を低めに設定し、熱源機ヒートポンプ等の動力を削減する。	1%	<input type="checkbox"/>
	・空調機器の一斉の起動を避ける。（運転時間前倒し、フロア毎の時間調整等）	4% <small>(1時間程度の効果)</small>	<input type="checkbox"/>

節電取組例



- ・ 執務エリアの照明を半分程度間引き・・・▲ 8%
- ・ 設定温度を20℃にするなど、適切な空調利用を徹底・・・▲ 4%
- = 合計▲12%

メンテナンスや日々の節電努力もお願いします

照明	・昼休みなどは完全消灯を心掛ける。
	・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。 (従来型蛍光灯からHf蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。)
空調	・フィルターを定期的に清掃する（2週間に一度程度が目安）。
	・電気室、サーバー室などで冷房を使っている場合には、可能な限り冷房を使わずに外気を取り入れる。または、空調設定温度が低すぎないかを確認し、見直す。
	・電気以外の方式（ガス方式等）の空調熱源を保有している場合はそれらを優先運転する。
	・暖房と冷房の同時使用による室内混合損失を避ける

従業員やテナントへの節電の啓発も大事です

節電啓発	・ビル全体の節電目標と具体的アクションについて、関係全部門・テナントへ理解と協力を求める。
	・節電担当者を決め、責任者（ビルオーナー・部門長）と関係全部門・テナントが出席したフォローアップ会議や節電パトロールを実施する。
	・従業員やテナントに対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。

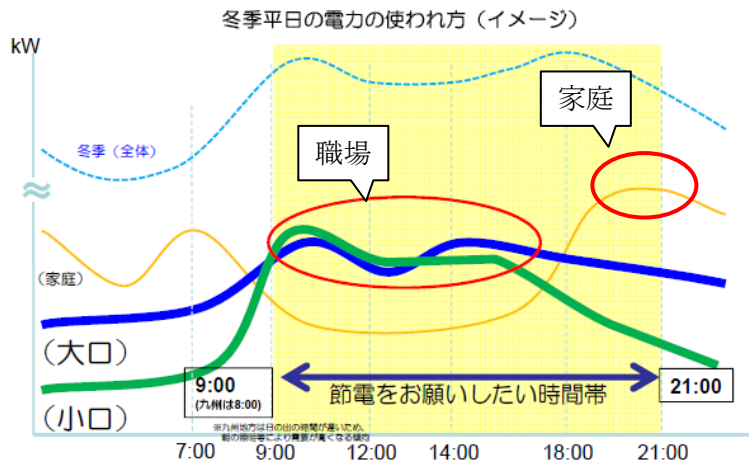
出典：冬期の節電メニュー（事業者の皆様へ）平成24年11月経済産業省

電力需給問題はすぐには解決できません。また一部の方が努力すれば解決できるものでもありません。今夏は皆さん一人ひとりの努力により電力需給が逼迫した状況でも、電力の消費を抑えることができました。継続してご協力をお願いいたします。

= 家庭での節電対策 =

家庭の電力需要は朝早くと、夕方から夜にかけて**最大ピーク**となる傾向です。帰宅してからも、次のアクションを参考に、各家庭で節電に取り組みましょう！

※冬季の節電メニュー（ご家庭の皆様へ）平成 24 年 11 月 経済産業省のウェブサイトも参考にして下さい。URL : http://www.meti.go.jp/setsuden/pdf/121102/121102_01d.pdf



節電メニュー

※主にエアコンを使用する家庭の例

項目	節電効果 (削減率)	チェック
エアコン ① ・重ね着などをして、室温20℃を心がけましょう。 ② ・窓には厚手のカーテンを掛けましょう	7% <small>※設定温度を2℃下げた場合</small>	<input type="checkbox"/>
照明 ③ ・不要な照明をできるだけ消しましょう	4%	<input type="checkbox"/>
テレビ ④ ・画面の輝度を下げましょう。 ・必要な時以外は消しましょう。	2% <small>※標準一省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合</small>	<input type="checkbox"/>
冷蔵庫 ⑤ ・冷蔵庫の設定を「弱」に変えましょう。 ・扉を開ける時間をできるだけ減らしましょう。 ・食品をつめこまないようにしましょう。	1%	<input type="checkbox"/>
ジャー炊飯器 ⑥ ・早朝にタイマー機能で1日分をまとめて炊きましょう。 ・保温機能は使用せずに、よく冷ましてから冷蔵庫に保存しましょう。	1%	<input type="checkbox"/>
温水洗浄便座 (瞬間式) ⑦ ・便座保温・温水の設定温度を下げましょう。 ・不使用時はふたを閉めましょう。	1%未満	<input type="checkbox"/>
待機電力 ⑧ ・リモコンではなく、本体の主電源を切りましょう。 ・使わない機器はプラグを抜いておきましょう。	1% <small>まめにぬいてネ!!</small>	<input type="checkbox"/>

これだけでも 7%削減

待機電力 カット!

★チーフマネージャーの皆様に、「部局環境活動スローガンに込めた想い」を寄せていただきましたのでご紹介します。各部局のチーフマネージャーの想いを共有し、一致団結して取り組みましょう！

	部局環境活動スローガン	チーフマネージャーの想い
総務部	<p>エコな気持ちでワーク&ライフ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人も機器もON・OFFの徹底を！ ・ゴミ箱からの紙ゴミの一扫を！ 	<p>「仕事はもちろん普段の生活においてもエコ活動に取り組もう。」という意味と併せて総務部ですから「ワーク・ライフ・バランスにも心がけよう。」の意味もこめてこのスローガンとしました。</p> <p>総務部長 鈴木 慎一</p>
企画部	<p>「省エネ・省資源も経営感覚もって推進、最少の経費で最大の効果を追求しよう。」</p>	<p>行政経営とは「ヒト・モノ・カネ」を効果的に活用し、最少の経費で最大の効果を追求することです。</p> <p>省エネや省資源についても環境への配慮はもちろんのこと、単なる経費の縮減という視点だけではなく、総合的かつ経営的視点をもって、仕事のやり方をもう一度再認識することが必要と考え、このようなスローガンとしました。</p> <p>企画部長 山崎 正美</p>
財務部	<p>スイッチOFF 節電ON エコ意識で経費節減！</p>	<p>電気などのエネルギーは、私たちが暮らしていく上で必要不可欠なものです。しかし、無駄なエネルギーの消費は、環境に負荷をかけ、また、それだけ経費がかかります。</p> <p>職員一人ひとりの環境配慮への想いが市の財政にとってもよいことに繋がるという意識を高めるため、このスローガンを掲げました。</p> <p>財務部長 大八木 浩一</p>
市民安全部	<p>もう一(いち)減(げん)CO2(こつ)へ 顔みて声をかけ合う 一言(いちげん)CO2(こつ)</p>	<p>CO2の削減につながる様々な取り組みを、できることからこつこつ始めていく事が大切です。市民安全部の全ての職員が、この「スローガン」を日々意識しながら、互いに声を掛け合い目標を達成できるよう取り組んでいきます。</p> <p>市民安全部長 小俣 晴俊</p>
経済部	<p>見直そう仕事の仕方!! — 実現しよう週2回のノー残業デー —</p>	<p>ノー残業デーは、節電になることはもちろん、メリハリのある業務の遂行による業務の効率化や、健康管理にも波及効果があります。</p> <p>残業をしなくても良いようにスケジュール管理をしっかりと行い、業務時間内に効率的に業務をこなそうという想い(意思)を込めています。</p> <p>経済部長 朝倉 利之</p>
文化生涯 学習部	<p>みんなで 節電湘(省)エネ 茅ヶ崎</p>	<p>家庭や職場などで、<u>みんな</u>が知恵を出し合いながら、常に節電の意識をもつことが重要であり、一人ひとりの節電が、CO2削減と地球温暖化防止につながるものと考えます。部内や所管の施設はもちろんのこと、茅ヶ崎市や湘南地域、そして全国で省エネルギーの意識をさらに高めようという想いをスローガンに託しました。</p> <p>文化生涯学習部 吉田 学</p>

<p>保健福祉部</p>	<p>喜びます 空の青さを！ 感謝します 街の灯りに！ 見つめます あなたの生き様を！</p>	<p>湘南の青い空の下で生活や仕事をできる喜びは、今の時代を生きている者が努力をして後世に残していかなければなりません。</p> <p>私たちは、東日本大震災後の計画停電を経験し、忘れかけていた電気のありがたさや、灯りのある街並みの安心感を改めて思い知ることとなりました。</p> <p>保健福祉部の職員は、市民の健康と安心に満ちた暮らしを支えるために市民に寄り添っていますが、同時に職員一人ひとりがどのように環境保全に向き合い、行動するか、あなたの生き様も問われているのです。</p> <p>保健福祉部長 夜光 広純</p>
<p>こども育成部</p>	<p>笑顔かがやく未来へ クリーン、グリーン、リサイクル</p> <p>きれいな職場づくり～リサイクルの徹底！</p>	<p>こども育成部では、「次世代の成長を喜びあえるまち」を政策目標に掲げて、様々な事務事業に取り組んでいます。</p> <p>職場から、現場から一つ一つの取り組みを行うことで、これからの茅ヶ崎市がそして社会全体が、みんなが喜びあうことが出来、より一層笑顔あふれる未来が訪れることを願い「笑顔かがやく未来へ」の想いを込めて、スローガンとしました。</p> <p>こども育成部長 生川 幹雄</p>
<p>環境部</p>	<p>気づかいで 減らせる エネルギー ちょっとした意識で 増やせる 資源物</p> <p>使用電力の節減、ごみの分別徹底などを推進し、 エコオフィス活動を目指します！</p>	<p>環境部の業務は、市の業務全てに関わりを持っています。</p> <p>その中でも「気づかい」や「ちょっとした意識」で市役所全体をエコオフィスにしていきたいという想いを込めて、このスローガンとしました。</p> <p>市役所全体をエコオフィスにするためには、まず環境部職員156名がこのスローガンに基づいて率先して行動することが必要です。「スローガン」にはこうした想い（意思）を込めています。</p> <p>環境部長 高橋 里幸</p>
<p>都市部</p>	<p>低炭素都市づくり 三歩目からは 初心に戻ってエコオフィスは一人一人のこころがけ</p>	<p>「都市の低炭素化の促進に関する法律」が平成24年9月5日に公布されました。この課題は、今後、全庁を挙げて最大限に取り組むべき国の重点施策です。</p> <p>都市部では、コンパクトで環境に配慮したまちづくりを推進しています。そこで、まず自分たちの足下からの実施をスローガンとし、職場環境からエコオフィスを実現することにより、都市の低炭素化を発信したいと考えています。この取り組みは、次世代へ安定した社会構築へのキーワードであり、今後も継承されるべきものです。C-EMSの取り組みも3年目を迎えるなかで、一度初心に立ち返り・足下を見つめ直すところ掛けを持ち、さらにこの施策を推進させる強い意志が込められています。</p> <p>都市部長 篠田 良三</p>
<p>建設部</p>	<p>若い力で、創造力と行動力のまちづくり</p>	<p>今までの風潮や結果にとらわれず、若い世代の創造性に期待したいと共に、思ったこと、考えたことを発言し伝えること（行動）で「まちづくり」に貢献していただきたい。</p> <p>恥ずかしがらずに、「自信とプライドを持ってアクションを！！」</p> <p>建設部長 本木 好幸</p>

<p>下水道河川 総務部</p>	<p>つなぐ暮らし 水の道！ ～水循環水環境で快適なまちづくり～</p>	<p>下水道の整備により公衆衛生の向上及び、公共用水域の保全に資すると共に、雨水等の再利用の促進により水の循環を実現したいとの思いからこのスローガンとしました。 下水道部長 塩崎 威</p>
<p>消防本部</p>	<p>環境も 指差し確認 1・2・3！！</p>	<p>「指差し確認」は、消防における安全管理の基本行動です。濃煙熱気の充満する屋内へ、人命救助に進入するためには、空気呼吸器などを装着しなければなりません。髪の毛一本の隙間でもマスクの中に煙が入り込み命を失う危険が伴います。環境に対しても、一つ一つの行動を着実にを行うため、基本行動を大切にしたいという思いを込めたものです。 消防長 太田 登</p>
<p>会計課</p>	<p>分別を 進めてゴミ箱 減量化 ☆資源のリサイクルを進め、 ゴミの減量化を図ろう☆</p>	<p>会計課は、市の公金に関わる収支事務を行っており、紙を多く消費します。 その中でも分別やりサイクルを積極的に行い、ゴミを最小限にとどめたいという思いをこめて、このスローガンとしました。 市役所全体をエコオフィスとし、ゴミの排出量を減らしていくためには、まず会計課の職員が率先して日々のゴミの減量に取り組むことが必要です。「スローガン」にはこうした思いを込めています。 会計管理者 安藤 茂</p>
<p>議会事務局</p>	<p>仕事はアクティブ、パワフルに！ でも、資源利用は 環境に優しく控えめに！</p>	<p>議会事務局は、業務の関係で紙やコピー機の使用が多く、また、事務室、議場、会議室なども多く電力使用も多い状況です。現在でも紙の裏面使用や、こまめに電源を切ることなど、環境に配慮しています。今後も所属職員一人一人が、より一層エコを意識し、厳しい執務環境の中で夏の暑さ、冬の寒さに負けず積極的に、熱く仕事をしていこうという思いを込めてスローガンを作成しました。 議会事務局長 石田 恭士</p>
<p>選挙管理 委員事務局</p>	<p>整理整頓で職場環境も最適化 ～いつでもスタンバイ～</p>	<p>選挙管理委員会事務局は事務所の移転がありました。新メンバーも加わり、移転をきっかけに職場内を整理整頓をし、また、システム最適化の稼働により、業務処理時間等の削減が期待でき、新たな環境でのスタートの思いを込めて、このスローガンとしました。 突発的にある国政選挙にいつでも望めるような快適な職場環境を保つことが必須となります。「スローガン」にはこうした思い（意思）が込められています。 選挙管理委員会事務局長 上倉 進</p>

<p>監査事務局</p>	<p>ちょっとしたことから大きな効果を！ ～裏面利用と両面印刷、使ったメモ紙も大切な資源～</p>	<p>監査委員は、公正で合理的かつ能率的な市の行政運営確保のため、違法、不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて監査等を実施し、もって、市の行政の適法性、効率性、妥当性の保障を期すものとしており、事務局はその補助機関として業務を行っています。 また、本市の厳しい財政状況を踏まえ、経済性、有効性等の視点を持った監査を行い、歳入確保やコスト削減等につながっているかどうかを検証している中で、日々の業務において少しでもエコオフィス推進のために寄与できることが、ひいてはコスト削減等にもつながっていくことへの願いを込めて、まずは毎日の「ちょっとしたこと」（最少の経費で）から始めて、少しずつでも「大きな成果」（最大の効果）が上がるようにとの思いからスローガンを作成しました。 監査事務局長 佐宗 直</p>
<p>農業委員会事務局</p>	<p>事務室の整理・整頓で環境に一役</p>	<p>事務室内の整理整頓をおこない、職員が執務しやすい環境を整えることにより、心に余裕を持つことができ、人に優しくなり環境への配慮を持つことができ、更なる ECO への関心を高めることへ繋がるとの思いを込めてこのスローガンにしました。 農業委員会事務局長 青木 英一</p>
<p>教育総務部</p>	<p>『みんなで考え、みんなで始めよう！』 環境への思いやりは 未来への贈りもの</p>	<p>環境に関しては、地球環境、自然環境、生活環境などについてさまざまな問題・課題が示されています。 環境問題は人の活動により発生する問題も多く、環境への負荷を減らす生活や行動が大切です。 今、教育総務部の職員一人ひとりが、紙資源の消費・ごみの排出量の抑制、水道や電気・ガスの使用量の抑制など、小さなことからコツコツと環境保全のためにできることを様々な機会や場所で考え取り組む事が、今と未来の子どもたちの住みよい環境づくりにつながることを意識してほしく考えました。 教育総務部長 水島 修一</p>
<p>教育推進部</p>	<p>『Eco オフィス宣言』 ～徹底省エネで未来を築く～ クライとクライと嘆かずに 進んで未来に輝きを！！ 照明もパソコンもちろん車の運転もみなエコドライブで！！』</p>	<p>教育推進部の業務は、明日を担う次世代の育成に深くかかわっています。 私たち大人が前向きに環境活動に取り組む姿勢を、子どもたちに見せていこうという思いを込めて、まずは、私たちができることから（照明、パソコン、車の運転、印刷など）徹底的に取り組めます。 教育推進部長 金子 陽一</p>

第13号

C-EMS レター



環境市民講座で、「寒川広域リサイクルセンター」を見学してきました。

平成24年12月21日発行
発行元 C-EMS 事務局（環境政策課）

主な記事 1. C-EMS 平成24年度上期取組結果 P.1~6
2. 今後のスケジュール P.6

C-EMS平成24年度上期取組結果！

平成24年度上期の取組結果がまとまりましたので、お知らせ致します。

なお、各課かいに作成いただいた「環境活動ふりかえり表」は全てホームページで公表いたしますので、他の課かいの取組も是非参考にしてください。



1. C-EMS 平成24年度上期取組結果

(1) 取組目標

数値目標	取組結果
<p style="color: red;">前年度比1%削減</p> 長期目標：平成21年度から平成26年度で 平成21年度比5%削減	<p style="color: red;">下表のとおり</p> ※平成21年度比は下期にまとめて算出します。

(2) 取組結果 全体的に増加傾向にあります。下期も引き続き省エネにご協力お願いします。

項目	平成24年度上期実績	平成23年度上期実績	増減率(%)
電気	9950 (千kWh)	9496 (千kWh)	+5%
ガス	554 (千m ³)	534 (千m ³)	+4%
灯油	193 (千ℓ)	152 (千ℓ)	+21%
LPG	35 (千m ³)	32 (千m ³)	+8%

※施設数：平成23年度212施設、平成24年度213施設

※紙、ガソリン、水については下期に一年分集計します。

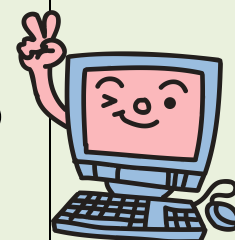
毎月の電気料金は、本庁舎、分庁舎、仮設庁舎だけでも何百万円にもものぼります。また、平成24年9月から電気料金が値上げされました。経営感覚を持って節電に取り組みましょう！




(3) 優良な取組

ふりかえり表から、優良な取組をピックアップしました。みなさんの課かいでも取り入れてみましょう！各課かいでの研修等にもお役立て下さい。

取組内容	効果	
	エコ	その他
1. 業務の見直し ・全業務の業務フローを作成しており、今後は作業工程などの見直しにより業務の効率化を図る（職員課）	電力削減	業務効率化、人件費削減、コスト削減
2. PC省電力モード設定、一人一台PCのスリープモードの設定 ・設定時間を一律にせず、個々の担当業務の特性に照らして再調整することにより、業務を妨げない適切な設定の改善が進められている。（教育指導課）	電力削減、 全員やれば大きな効果!	コスト削減
3. 冷暖房の効率を高めるためのレイアウト変更 ・自動ドアからの冷気をさけるために事務室のレイアウトを変え、ビニールカーテンを設置、夏には麻のカーテンに替える等室温管理で節電を図った。（松林公民館）	電力削減 省エネ	コスト削減
4. こまめな消灯 ・節電はスイッチ確認表の各職員担当が責任を持って対応（浜見平保育園）	電力削減	コスト削減
5. 待機電力カット ・電気ポットの使用を自粛しお湯は給湯室で必要な時各自で注ぎに行く。（景観みどり課、環境政策課） ・勤務時間外に電力を必要としない機器についてはすべて コンセントを抜く ことを徹底している。（道路建設課）	電力削減 今月のちょこエコに決定！ コンセントを抜いて待機電力カット！	コスト削減
6. ライト（照明）シェア ・省エネとコミュニケーションアップのための 時間と場所集中型の作業 。事務や打ち合わせ、会議などは同室で集中して作業ができた。（浜須賀保育園）	電力削減	コスト削減、業務効率化
7. 会議時間の短縮 ・事前に資料をメール等電子媒体で配付。（消防総務課、指導課） ・会議内容を周知、事前に意見を記述してもらう。（鶴が台保育園） ・会議時間について冒頭で終了予定時間を伝える。（環境政策課）	電力削減	効率的な会議進行、人件費削減、コスト削減
8. 印刷枚数の削減 ・配布資料の必要性を事前に吟味する。（市民課、建築指導課、議会事務局） ・配布資料の内容を吟味し、真に必要な情報のみを記載する。（建築指導） ・配付資料の統合や見直し。（都市計画課） ・必要以外の資料の出力は自粛する。（資産税課） ・文書確認についてはできる限り 電子で確認 。（議会事務局、教育政策課）	紙使用量削減 時代は電子化!!	業務効率化、コスト削減



取組内容	効果	
	エコ	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・伝達事項にメールを用いる。(保健福祉課) ・平成23年度決算事務にあたり、各課かいの執行状況を電子化(会計課) ・メールを利用して課員に情報共有を図るように紙による回覧をなるべく避ける(建設総務課) ・供覧文書の電子化、所内会議のレジメのグループウェア活用。(小出支所) ・台帳を設けて随時用紙使用状況を把握している。(地域医療センター) ・ちらしの縮小化(海岸青少年会館) 	<p>前ページつづき</p> <p>時代は電子化!!</p>  <p>ちがき貴族 夜の精霊 えぼし麻呂 & ミーナ</p> <p>使用量が半分!</p>	
<p>9. エコドライブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場調査とパトロールの地域を整理する事で使用台数の削減に努めた。(都市計画課) 	ガソリン使用量削減	コスト削減、業務効率化、
<p>10. 省エネ(ガス、LPG、灯油)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年より実験的に館の西面側の一部に設置したサンシェードタープは、強烈な西日を緩和し、非常に有効なことが実証された。(鶴嶺公民館) ・「省エネへのご協力」を掲示し、周知を図っている。(小出支所) 	ガス、LPG削減	コスト削減
<p>11. 節水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児と一緒に節水(鶴が台、浜見平、浜須賀、香川、室田保育園) ・エコの劇を子どもたちや職員に見て貰い意識が高まり職員の声かけも出来た。(小和田保育園) ・様々な環境教育活動の中で子ども達に関心を持たせ、環境に配慮した生活習慣や態度を身につけるよう心がける。(香川保育園) ・調理室では水を流し放しにして食器を洗っていたが、溜め洗いに変えたり、洗濯機を回す回数を減らした。(小和田保育園) ・漏水の発生の確認を水道メーター等で行う。(小和田公民館) 	<p>水使用量削減</p> <p>子どもと一緒にエコ</p> 	コスト削減
<p>12. リサイクル、ごみ減量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別を出展者、来場者に周知し、当日は割り箸のリサイクルに取り組んだ。(市民自治推進課) ・発生させるごみを資源と分別し、ごみを少なくするために来場者へチラシ等で呼びかけを行い、イベント実施にむけ準備をすすめている。(消防総務課) ・ゴミ箱設置を廃止し、利用者各自が持ち帰り分別の徹底を啓発した。(海岸青少年会館) ・封筒作成における仕様書に再生紙を指定。(会計課) ・退庁時ゴミ箱確認。(会計課) 	<p>資源循環、ごみ減量</p> <p>市民への呼びかけも重要!!</p> 	

取組内容	効果	
	エコ	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・連続用紙使用の際にやむなく出てしまう白紙の端切れについて、保育園（保育課）と協力し、保育士間での連絡帳や園児の落書帳として活用。（情報推進課） ・園児と一緒にゴミ分別。（浜見平、鶴が台、香川保育園） ・紙1枚でも、情報が流出してはいけない部分とそうでない部分とに切り分け分別。（室田保育園） 	前ページつづき	
<p>13. 意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼等の時間を活用し、環境に係る発言を課員が随時行った。エコオフィスのひとりひとりのところがけだけではなく、課全体の意識向上がみられる。（景観みどり課） ・課内会議や朝礼等において環境に対する意識づけを行っていることもあり、職員1人1人が環境に対する意識が高いことから、取り組み目標について順調に進捗している。（都市計画課） ・環境活動における職員相互の「声かけ活動」を実施し、課として組織的な意識の向上及び定着を図る。（秘書広報課） ・設計業務の工期中間時期の成果物に、環境・省エネに重点を置いた項目を設けている。（施設再編整備課） 	環境意識向上	
<p>14. コスト削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課内部資料の印刷時には、トナー節約モードでの印刷を行った。（情報推進課） 	資源の節減	コスト削減
<p>15. 研修（テーマを絞った研修）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人別時間外削減目標設定研修（市民課） ・職場のチーム力を高める省資源・省エネ業務の推進とは？（普段からのコミュニケーション（報連相）を密にすることで、資料作成のミスを防ぎ、省資源につながる。）（教育センター） ・コピー機・プリンターの未使用時の電源OFFの職員への説明会（鶴嶺公民館） ・裏紙再利用の職員への説明会（鶴嶺公民館） 	環境意識向上	

コツコツとした取組が鍵!!

日頃からの意識が大切!

全員やれば大きな効果!

さっそくやってみよう!

1. すぐできる! PCの省エネ★

(1) ちょっと離席、休憩時にも賢く節電するには?!



結果 90分以内の離席なら、スリープを使ったほうがお得です。
※WindowsXPでは40分。

☞ PCのふた閉じを習慣にしよう! (スリープモード (スタンバイ))

PCで最も電力を消費するのは、実はシャットダウンや起動を実行するときなのです。そのため短い時間でシャットダウンと起動を繰り返すと、かえって電力を多く消費してしまいます。マイクロソフトの調査では、中断時間がおよそ90分以内※であれば、スリープ (スタンバイ) の方が消費電力量が低いことがわかりました。※WindowsXPでは40分。

知ってますか?

スクリーンセーバー (画面が勝手に暗くなる) は電力を消費しており、省エネにはなりません!! ふたを閉じましょう。

(2) しばらく使わないときは、電源を「休止状態」にしましょう。

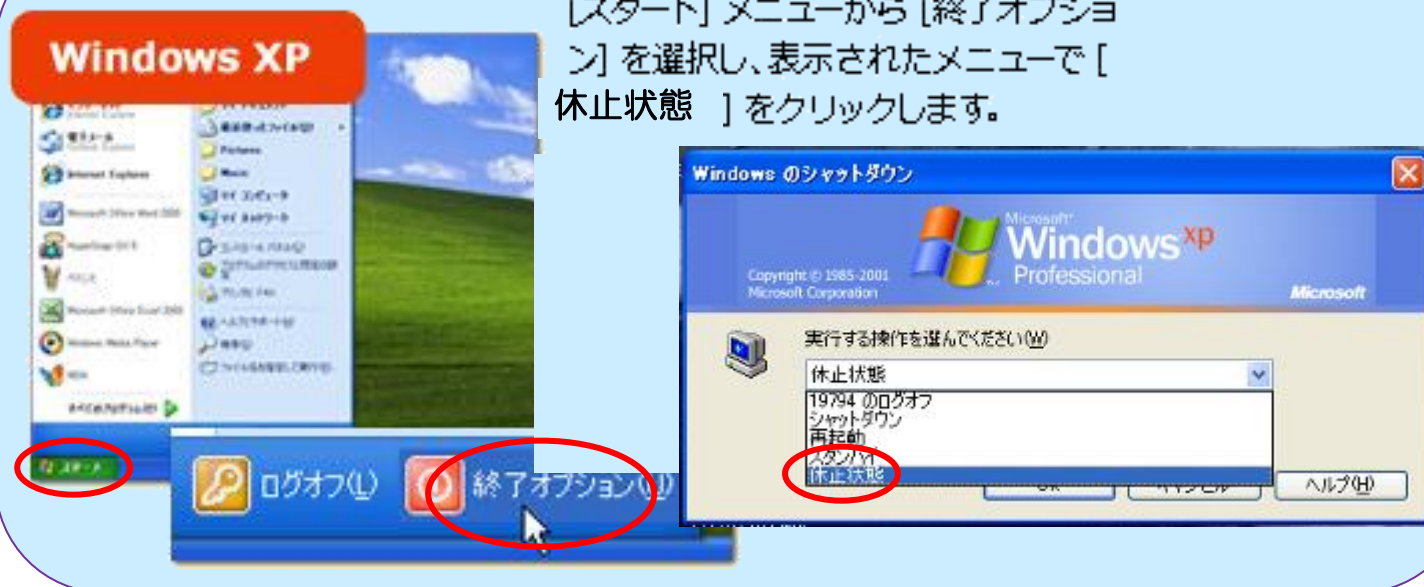
「スリープ」(スタンバイ)って?	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在作業中の状態を保持したまま省電力状態にすることです。 2. わずかに電力を使う 3. すぐに起動出来る(立ち上げ時の電力小)
「休止状態」って?	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在作業中の状態をハードディスクに保存して、パソコンの電源を切ることです。 2. 電力を使わない(コンセントを抜いても大丈夫。(もちろん、急な停電でも安全です)。 3. 起動に若干時間が掛かる(シャットダウンよりはかからない)

☞ 電源を切るときは、「スリープ」、「休止状態」を上手に使い分けて節電しましょう。

☞ 使い分けの一例：一時的に席を離れる時は [スリープ] に、長く席を外すときは [休止状態] にする。

休止状態にする方法

[スタート] メニューから [終了オプション] を選択し、表示されたメニューで [休止状態] をクリックします。



(3) 節電しながら賢くPCを使うには?!



結果

ディスプレイの輝度(明るさ)を40%に調整するだけで、約23%の節電に!

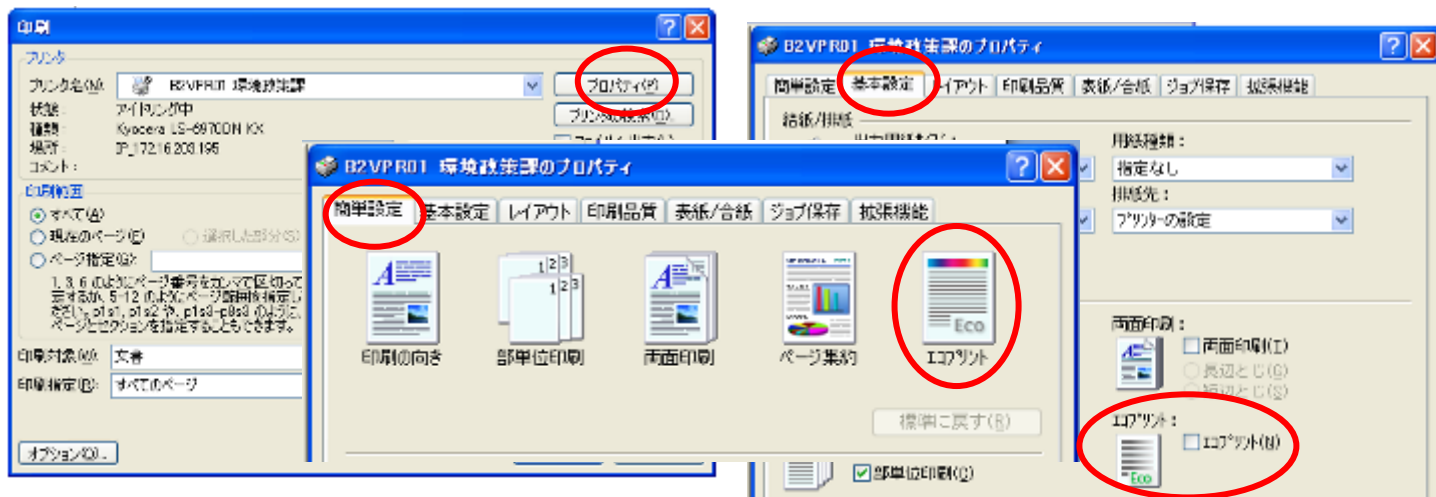
PCを使用するときは、ディスプレイも必ず一緒に使用しますが、実はこのディスプレイは、PCの消費電力のかなりの部分を占めています。マイクロソフトの調査によると、輝度40%にすると、輝度100%のときに比べて約23%の節電になることがわかりました。ディスプレイの明るさを抑えると、大きな節電効果があると言えるでしょう。無理に暗くする必要はありませんが、視認性に問題のない範囲でディスプレイの明るさを抑えることは、とても効果的な節電対策です。

◎方法：Fn キーを押しながらファンクション キー(暗くする場合は 、明るくする場合は)を押して調整できます。F8、F9にあるPCが多いです。

2. すぐできる！エコ印刷★

印刷の際、**エコプリント**（トナーセーブモードなど）で印刷すると、機種によっては**約半分もトナーを節約**出来ますよ。エコで経済的ですね！

◎方法：印刷→プロパティから「簡単設定」または「基本設定」の「**エコプリント**」を選択して下さい。※機種により呼び方、方法が異なります。色は薄くなります。



2. 今後のスケジュール

来年1月には外部監査がありますので、ご対応宜しくお願ひします。対象組織につきましては、決まり次第お知らせします。また、今年度も、優良な取組の表彰を行いますので、みなさん積極的なご応募をお願いします。こちらも後日お知らせします。下期も引き続き、環境に配慮した取組をお願いします。

日程	項目
1月16日	外部監査（文書）
1月24日	外部監査（訪問）
1月7日～2月15日	C-EMS優良な取組表彰案件募集
3月上旬	環境調整会議
3月中旬	市長レビュー（市長評価、見直し指示など）
3月下旬	C-EMS優良な取組表彰
3月下旬	C-EMS下期ふりかえり表作成依頼

3. その他



～12月は地球温暖化防止月間です～
次の取組を徹底しましょう！

- ① **こまめな消灯** 気付いた人が消そう！
（昼休み、トイレ、使わない場所などの消し忘れチェック！）
- ② **ノ一残業デーの徹底!** 定時に帰ろう！
- ③ **電気ポット使用自粛** コンセントを抜こう！
（お湯は必要時に各自給湯室で入れよう！）

今月の
ちょこエコ!

資料2:市民等を対象とした環境に関する事業(市民活動団体等との連携及び協働によるもの)

(重点施策34 意識啓発・人材育成(本編 95 ページ))

No.	事業名	実施日/場所	内 容	参加人数	担当課(協働団体)
1	里山はっけん隊!	①9月1日、 ②12月2日/ 神奈川県立 茅ヶ崎里山 公園	①自然観察とワークシ ョップ(里山の素材を使 ったおやつづくりと里山 マップづくり) ②自然観察とワークシ ョップ(かまど体験と里 山マップづくり)	①30人 ②41人	環境政策課 (共催:(公財)神奈川県公園 協会、協力:柳谷の自然に学 ぶ会)
2	親子でエコ・ク ッキング	3月30日/女 性センター	環境に配慮した調理方 法を学びながら、ハヤ シライスをつくる。	16人	環境政策課 (協力:東京ガス(株)神奈川西 支店)
3	環境市民講座 「身近な秋をさ がしに～城之 腰を歩こう」	10月13日/ 芹沢城之腰 地域	貴重な里山景観の残る 芹沢城之腰地域の散 策	12人	環境政策課(協力) (主催:環境市民会議「ちがさ きエコワーク」)
4	環境市民講座 「知ろう!環境 保全型農業と 地産地消」	9月13日/萩 園ファーム 21・鶴嶺公民 館	環境保全型農業の現 地見学と茅ヶ崎産の食 材を使ったスパゲティ づくり	24人	環境政策課(協力) (主催:環境市民会議「ちがさ きエコワーク」)
5	環境市民講座 「寒川広域リ サイクルセン ター見学会」	12月3日/寒 川広域リサイ クルセンター	寒川広域リサイクルセ ンターの見学	27人	環境政策課(協力) (主催:環境市民会議「ちがさ きエコワーク」)
6	環境市民講座 「まちなか み どり 再発見」	1月26日/市 内南部の保 存樹林地、別 荘地付近	市街地のみどりの見学	13人	環境政策課(協力) (主催:環境市民会議「ちがさ きエコワーク」)
7	農業・漁業体 験プロジェクト	①5月19日、 ②8月8日、 ③9月22日、 ④10月27日 /今宿、茅ヶ 崎漁港	①落花生の種まき、に んじん等の収穫 ②漁業体験 ③稲刈り、落花生の収 穫 ④大根、白菜の収穫、 焼き芋	①12人 ②12人 ③20人 ④17人	環境政策課 (協力:市内の農業者・水産業 者)
8	ちがさき環境 フェア2012	6月23日/市 役所分庁舎5 階・6階、茅ヶ 崎中央公園	環境展、ワークショップ 、映画上映、地場野 菜即売会、飲食コーナ ーなど	2,000人	環境政策課 (共催:環境市民会議「ちがさ きエコワーク」)
9	こどもエコクラ ブ交流会	①5月、②8 月、③11月/ 神奈川県立 茅ヶ崎里山 公園	①サツマイモの植え付 け・木の枝鉛筆づくり ②サツマイモ畑の草取 り・水鉄砲づくり ③サツマイモの収穫・ 竹とんぼづくり	①5人 ②5人 ③9人	環境政策課 (協力:(公財)神奈川県公園 協会、里山公園倶楽部)
10	災害エコレン ジャー	10月6日/茅 ヶ崎市総合 体育館会議 室・中庭	災害時に役立つエコの 知恵や、ソーラークッカ ーづくりなどを体験的に 学ぶ学習プログラム	小学生 67 人とその 保護者	環境政策課 (委託先:ちがさき自然エネル ギーネットワーク)

No.	事業名	実施日/場所	内容	参加人数	担当課(協働団体)
11	自然エネルギー普及啓発事業「茅ヶ崎生まれのおひさま発電を体験してみませんか」	8月26日/市役所本庁舎7階B会議室	茅ヶ崎生まれのおひさま発電データ報告、講演会「設置前の注意点・メンテナンス・災害時の太陽光発電の使い方」	22人	環境政策課 (委託先:ちがさき自然エネルギーネットワーク)
12	湘南エコウェーブ緑の保全と普及プロジェクト「みんなで森を知ろう！」	7月30日/日本大学生物資源科学部	講義「森のはなし」と、演習林での動植物の観察	58人	環境政策課 (協力:日本大学生物資源科学部)
13	マダイの稚魚放流	8月21日/烏帽子岩周辺	マダイの稚魚1万匹の放流	30人	農業水産課・環境政策課(協力) (主催:茅ヶ崎市漁業協同組合)
14	親子で行く農産物買い物ツアー	①8月7日、 ②8月29日、 ③11月20日、④3月29日/芹沢、赤羽根、堤、柳島海岸など	マイクロバスに乗り、市内の農家や水産物販売店を巡回して買い物をする。	①15人 ②10人 ③21人 ④15人	農業水産課・環境政策課 (協力:市内の農業者、畜産業者、水産加工業者)
15	農業まつり	①4月22日、 ②11月3日/茅ヶ崎市中央公園	茅ヶ崎市の農産物の栽培技術の向上を図り、優良品種の普及と地域特産物の育成を推進するとともに、消費者に対して優良農産物を紹介し、本市農業の発展に資することを目的として開催する。 品評会、直売、バザーなどで構成する春の農業まつり、秋の農業まつりを実施する。	① 33,000人(大岡越前祭・産業フェア・春の市民まつり・みどりフェアちがさきと合算) ② 45,000人(市民ふれあいまつりと合算)	農業水産課 (委託先:茅ヶ崎市農業まつり実行委員会)
16	遊休農地を活用したサツマイモ作り	①5月19日、 ②7月14日、 ③10月20日/堤	市農業委員会と共催で堤にある遊休農地の解消のため農業委員の指導のもと、市内の親子及び文教大学生とともにサツマイモ作りを行う。	①5組 ②3組 ③5組	農業水産課 (共催:茅ヶ崎市農業委員会)
17	花と野菜のまつり	10月20日/萩園	10月に開催される萩園の農家団体「萩園ファーム21」と茅ヶ崎市農業まつり実行委員会が共催の「花と野菜のまつり」において、開催協力を行う。	1,000人	農業水産課(協力) (主催:萩園ファーム21、共催:茅ヶ崎市農業まつり実行委員会)

No.	事業名	実施日/場所	内容	参加人数	担当課(協働団体)
18	富士見ファーム赤羽根 収穫祭	11月18日/ 農業ふれあい館	11月に開催される「富士見ファーム赤羽根市民農園組合」主催の「収穫祭」において、開催協力を行う。	600人	農業水産課(協力) (主催:富士見ファーム赤羽根市民農園組合)
19	地産地消イベント「我がまちなかがやき」	①6月3日/ 芹沢	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所主催のイベント「我がまちなかがやき～茅ヶ崎の地産地消について～」において、茅ヶ崎市の農業に関する情報提供や、市主催事業の紹介等を行う。	①30人 (プロジェクト全体で約100人)	農業水産課(協力) (主催:(公社)茅ヶ崎青年会議所)
20	レインボーフェスティバル開催事業	11月18日/ 県立茅ヶ崎里山公園	県立茅ヶ崎里山公園の良さを広く市民に周知することを主目的に開催する。里山の自然と触れあい、地域の活性化を図る。	50,000人	文化生涯学習課 (共催:ちがさきレインボーフェスティバル実行委員会)
21	みどりフェアちがさき	4月22日/茅ヶ崎市中央公園	家庭の緑化、地域の緑化、学校・道路等公共施設の緑化を積極的に推進し、緑あふれるまちづくりを目指すために、木工教室、かざぐるまづくり、椎茸栽培づくり、ヨーヨーつりゲーム、ハーブを楽しむ集い、みどりの相談所、ウッドバーニング教室、坪庭展示等を開催する。	33,000人 (大岡越前祭・産業フェア・春の市民まつり・春の農業まつりと合算)	景観みどり課 (委託先:みどりフェアちがさき実行委員会)
22	湘南海岸里親プロジェクト	9月16日/湘南海岸	団体で作った苗を、応募した茅ヶ崎、藤沢地域の方に鉢上げしてもらい、各々自宅・学校・職場で育て、その後浜辺に移植する。	194人	景観みどり課(後援) (主催:特定非営利活動法人ゆい)
23	千ノ川クリーンキャンペーン	11月10日/ 千ノ川橋から新千ノ川橋区間、梅田橋親水護岸	地域住民と一緒に清掃を行い、千ノ川が「自然とのふれあい」や憩いの場となることを目的とする。	約50人	広域事業政策課・下水道河川管理課(後援) (主催:「生きのこれ川」の応援団)
24	千ノ川水循環啓発事業	8月18日/梅田橋親水護岸	千ノ川の清浄な水循環を確保するという課題について、啓発のための講演会の実施や、川に親しめるパンフレット(お散歩マップ)を企画・制作する。	39人	下水道河川建設課 (「生きのこれ川」の応援団との協働推進事業 ¹ により実施)

¹ 協働推進事業:市と市民活動団体が事業の企画段階から、対等な立場で、適切な役割分担により双方の責任において実施する協働事業。

資料3: 公民館等における環境に関する講座等の実施状況

(重点施策34 意識啓発・人材育成(本編95ページ))

No	事業名	実施日/場所	内容	参加人数	担当
1	自然史資料の展示	4月～11月/ 文化資料館	茅ヶ崎の海岸で見られる動植物の標本資料や写真資料の展示	—	社会教育課 (文化資料館)
2	市外自然観察会「晩春の真鶴半島の海と森を訪ねる」	5月26日/真鶴町	市外の多様な生物相が観察できるフィールドを真鶴町の学芸員の解説を受けながら観察する。	17名	社会教育課 (文化資料館)
3	夏休み！子どもワークショップ2012！	①7月27日、 ②7月27日、 8月23日③8月3日④8月24日/文化資料館および海岸	①昆虫観察と昆虫(蝶目、甲虫)の展翅による乾燥標本づくり ②植物観察と腊葉標本づくり ③顕微鏡の使い方教室 ④夏の野鳥観察とバードカービング 「かながわサイエンスサマー」	①13人 ②11人 ③12人 ④13人	社会教育課 (文化資料館)
4	秋の自然観察会「相模川河口を訪ねるー海と川の自然ー」	10月27日/ 柳島海岸	相模川河口地域の貴重な海岸性の動植物を観察することで、豊かな生物相について知識や理解を深める。	20名	社会教育課 (文化資料館)
5	冬の野鳥観察会「小出川流域を歩く」	1月26日/小出川流域	身近な自然を観察し、小出川の貴重で豊かな自然について知識や理解を深める。	26名	社会教育課 (文化資料館)
6	親子エコ工作～おひさまラントンを作ろう～	8月4日/小和田公民館講義室	地球温暖化に関するDVD上映、温暖化シミュレーションの説明、電気・省エネ実験、おひさまラントン工作	小学生の親子20組 47人	小和田公民館
7	小出川クリーンしながらバードウォッチングとあったか豚汁を食べよう	2月2日/雨のため鶴嶺小学校体育館	小出川周辺の野鳥観察とゴミ拾いを予定したが雨のため鳥についての講話	53人	鶴嶺公民館
8	つるみね教育資源探訪	①10月4日、 ②10月11日、③10月18日、④10月25日/①② ④鶴嶺公民館学習室 ③衛生研究所	①食に関する雑談会 ②講演「食品の安全・安心を脅かす出来事」 ③衛生研究所施設見学 ④つるみねの自然についての雑談会	①12人 ②12人 ③13人 ④14人	鶴嶺公民館
9	自然の発見・観察探検隊	8月11日/馬入ふれあい公園および馬入水辺の楽校	小学生の親子を対象に動植物を観察しながら自然保護を学ぶ	15人	鶴嶺公民館
10	「暮らしと環境」	10月8日/寒川広域リサイクルセンター他	寒川広域リサイクルセンター、伊勢原市立子ども科学館、いせはら農産物直売センターに施設見学等。	14人	松林公民館

No	事業名	実施日/場所	内容	参加人数	担当
11	自然探検隊	8月29日/江ノ島	磯の生きもの観察	15人	南湖公民館
12	自然探検隊	11月10日/湘南平	高麗山探検登山と湘南平散策	18人	南湖公民館
13	ドキドキチャレンジ春	5月26日/平塚総合公園	西浜海岸から平塚総合公園まで歩く。	49人	南湖公民館
14	ドキドキチャレンジ秋	9月8日/西浜海岸	サンドクラフト大会！（西浜で砂像づくり）	35人	南湖公民館
15	自然探検 春の柳谷	4月17日/県立茅ヶ崎里山公園内柳谷	柳谷で北陽中学校の生徒、保護者と一緒に自然観察を行い、身近な自然に親しみ、環境と生きものとの関係などを知ると共に、地元の中学生との交流も深める。	139名	香川公民館
16	身近な虫の世界	①6月16日、 ②7月14日(2回連続講座) /①香川公民館、②県立里山公園内柳谷	①レジメと写真による講義 ②野外で自然観察	①26人 ②25人	香川公民館
17	守りたい茅ヶ崎の自然	①5月26日、 ②6月2日/ ①行谷 ②平太夫新田	茅ヶ崎市自然環境評価調査で重要な地区(コア地域)として選ばれた7つのうち、3つの地域を訪ね茅ヶ崎の自然を見つめ直す機会として開催した。	①11人 ②8人	香川公民館
18	手作り布ぞうり	6月9日/香川公民館	古くなった浴衣を裂き布にして、木製の道具を使って布ぞうりを作る。古着をリユースするエコ講座。	②20人	香川公民館
19	雑木林で探検あそび	5月26日/香川公民館 保育室および雑木林	あそびながら自然を感じ、美しさやおもしろさ、新しい発見など、様々な体験をすることで自然の不思議や生命の大切さに気づくことを目的に開催した。	22人	香川公民館
20	庭木の正しい剪定講座	①10月12日、②11月2日(2回連続講座)/講演:香川公民館 実技:香川地区住民のお庭をお借りして	緑豊かな元気な庭づくりのため、剪定の基礎的な方法を実践しながら学ぶ。自分の庭から始める街づくりという意識も育む。	①16人 ②14人	香川公民館
21	身近な自然で楽しもう	3月17日/堤自治会館 付近及び小出コミセン	野外で野草を摘んで料理して味わうとともに、身近な自然への関心を深める。助け合いながら調理をすることで参加者同士の交流も深める。	12人	香川公民館

No	事業名	実施日/場所	内 容	参加人数	担当
22	冒険遊び場	①4月28日、 ②5月27日、 ③6月23日、 ④7月28日、 ⑤9月30日、 ⑥10月27日、 ⑦11月25日、 ⑧1月26日、 ⑨2月24日/茅ヶ崎市民の森	トマトの苗植え・さやえんどうの支柱作り、豆の収穫祭、じゃがいも掘り、芋掘り・焼き芋・芋づる工作、ブロッコリー・ジャガイモの苗植え	660人	青少年課
23	自然体験教室	①7月24日～25日、②7月31日～8月1日/①県立秦野ビジターセンター、表丹沢野外活動センター ②表丹沢野外活動センター	①ビジターセンター職員による解説付きの「丹沢の自然」に関するスライドトーク鑑賞、葛葉の泉までのハイキングと水の試飲 ②葛葉の泉までのハイキングと水の試飲	①76人 ②95人	青少年課
24	ミニ園芸教室 「ミニトマトを育ててみよう」	①5月5日、 ②5月26日、 ③6月16日、 ④6月30日/ 青少年会館裏庭	ミニトマト作りを通して野菜栽培の難しさや自然の恵み、食べ物の大切さを学ぶ。	8人	青少年会館
25	ミニ園芸教室 「ダイコンを作ってみよう」	①9月8日、 ②11月3日、 ③11月17日/ 青少年会館裏庭	ダイコン、チンゲンサイ作りを通して野菜栽培の楽しさと自然の恵み、食べ物の大切さを学ぶ。	9人	青少年会館
26	親子 de 社会見学	8月21日/独立行政法人海洋研究開発機構	深海生物などその海の様子を知り、海との関わりについて考える。	21人	青少年会館
27	晩秋の自然観察ハイキング	11月24日/ 泉の森(大和市上草柳)	晩秋の森を散策し野鳥や植物を観察する。	23人	青少年会館
28	エコクラフト教室	7月20日/海岸青少年会館	生活廃材や樹木の手入れから出た木片などを使い、メモリアル作品を作る。	15人	海岸青少年会館

資料4:環境市民会議「ちがさきエコワーク」の活動状況

(重点施策35 現在活動している市民や市民団体、事業者による環境保全の取り組みの支援(本編 97 ページ))

環境市民会議「ちがさきエコワーク」は、茅ヶ崎市環境基本計画の推進に向け、環境意識の高揚を図り、市民・事業者・市の協働による取り組みを自主的かつ積極的に推進するための組織です。事務局は市環境政策課が担当し、会議室の提供や資料の提供等、必要な支援を行っています。

団体名		発足年月	会員数(平成 25 年 4 月 1 日現在)																		
環境市民会議「ちがさきエコワーク」 (代表者：青木 洋子)		2000 年 10 月	62 名 (個人会員 40 名、 団体会員 22 団体)																		
登録者 状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部会名</th> <th>個人</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自然環境部会</td> <td>16</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>環境まちづくり部会</td> <td>12</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>環境学習部会</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>一般会員</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>40</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>			部会名	個人	団体	自然環境部会	16	14	環境まちづくり部会	12	3	環境学習部会	8	1	一般会員	4	4	計	40	22
	部会名	個人	団体																		
	自然環境部会	16	14																		
	環境まちづくり部会	12	3																		
	環境学習部会	8	1																		
	一般会員	4	4																		
計	40	22																			
(平成 25 年 4 月 1 日現在)																					
※一般会員とは、部会に属さない会員をいいます。																					
※個人会員の合計は、複数部会への登録者を数えています。																					
ホームページ	http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kankyo/torikumi/shiminkai gi/index.html																				
主な 活動状況 (平成 24 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・総会(毎年 5 月に開催) ・運営委員会(月 1 回、第 1 土曜日・第 2 金曜日で交互に開催) ・自然環境部会(毎月第 3 土曜日) ・環境まちづくり部会(毎月第 3 月曜日) ・環境学習部会(毎月第 3 木曜日) ●会報の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・「エコワーク通信」の発行(年 3 回) ●調査活動 <ul style="list-style-type: none"> ・松の木ウォッチング(12/23、環境学習部会で実施) ●イベント・講演会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「ちがさき環境フェア 2012」の開催(6/23、市との共催) ・環境フェア関連シンポジウム「みどりの対話集会」への参画(6/24) ・環境市民講座の開催 <ol style="list-style-type: none"> ①「知ろう!環境保全型農業と地産地消」(9/13、参加者 24 名) ②「身近な秋をさがしに～城之腰を歩こう～」(10/13、参加者 12 名) ③「寒川広域リサイクルセンター見学会」(12/3、参加者 27 名) ④「まちなか みどり 再発見」(25/1/26、参加者 13 名) ●イベント・講演会等への参加・出展 <ul style="list-style-type: none"> ・第 19 回市民環境活動報告会への参加(25/3/2) ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ◆環境基本計画重点プロジェクトの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・茅ヶ崎の自然環境を考える会(運営委員会：毎月第 1 木曜日、全体会：第 4 木曜日または第 4 土曜日(隔月交替で開催)) ・温暖化対策推進プロジェクト(不定期で開催) ・市の各審議会・委員会等への参加 																				

～環境市民会議「ちがさきエコワーク」団体登録会員の活動情報～

ここでは、各団体に活動状況を照会し、回答があった場合のみを掲載しますが、ここに掲載した以外の登録団体もそれぞれが独自の活動をしています。

【自然環境部会】

団体名		発足年月	会員数 (平成 25 年 4 月 1 日現在)
「生きのこれ川」の応援団 (代表者：石井 君江)		2000 年 1 月	16 名
活動内容	市内の川の循環・環境の改善に向けて、千ノ川やその流域の調査学習を中心に活動しています。毎月第 1 水曜日に定例会を設けています。川歩きをし、生態系・護岸の観察、水深の定点観察、清掃、草刈りをしています。また施設見学会や雨水利用の推進活動も進めています。		
主な 活動状況 (平成 24 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第 1 水曜日（隔月で千ノ川親水護岸にて観察、清掃、草刈り等を実施）（12 回／年、参加者延べ 120 名） ●会報の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・「生きのこれ川」（9 月、3 月の年 2 回発行、編集会議 6 回） ●調査活動 <ul style="list-style-type: none"> ・水生生物調査（4/4）（水深調査を含む） ・川の観察（下流）（6/6、9 名参加） （上流）（8/3、12 名参加） ●イベント・講演会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「親水護岸で川遊び！」（6/23、梅田橋親水護岸、20 名参加） ・「千ノ川クリーンキャンペーン」（11/10、100 名参加） ●イベント・講演会等への参加・出展 <ul style="list-style-type: none"> ・「ちがさき環境フェア 2012」への出展（6/23） ●学校等の環境学習の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習（円蔵中学校 1 年生希望者 20 名）（4/27） （事前下見：4/20、打合せ：4/16） ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ◆市下水道河川建設課との協働事業 <ul style="list-style-type: none"> ・講演会（7/28、参加者 31 名） （1/26、参加者 130 名） ・「親子で遊ぼう（梅田橋親水護岸で川遊び）」 （8/18、参加者 39 名） ・「おさんぼマップ」の作成（2,000 部） ・源平衛川視察（2/6、参加者 25 名） ・植樹プロジェクト計画 		



団体名		発足年月	会員数 (平成 25 年 4 月 1 日現在)
NPO法人 ゆい (代表者：荒井 三七雄)		2004 年 1 月	17 名
活動内容	かつて湘南の浜辺に豊かにあった海浜植物の復元・保護をしながら、次世代につなげていく活動を行っています。楽しい浜辺の観察会などの砂草講座や地引網イベント、各地の海浜保護団体とも交流を行っています。ハマボウフウを始めとする砂草や希少な当地の野生生物の増殖試験を行っています。		
ホームページ	http://www.npoyuhi.jp/		
主な活動状況 (平成 24 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第 3 土曜日 (12 回/年、参加者延べ 60 名) ●調査活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ハマヒルガオ、コウボウムギ (発芽試験) ・ハマカキラン (大学共同研究) ・ハマボウフウ (形質調査、大学共同遺伝子試験含む) ●イベント・講演会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「湘南海岸 砂草 100 人の里親プロジェクト」(登録者 180 名、参加者 200 名) ・海辺フォーラム「第 11 回ハマボウフ交流会」主催 (10/6,7、北海道から四国 11 団体 30 名) ●イベント・講演会等への参加・出展 <ul style="list-style-type: none"> ・「ちがさき環境フェア 2012」への出展 (パネル展示) (6/23) ・地名講演会「ふるさと 湘南の浜辺」(藤沢市教育委員会・藤沢地名の会主催) 講師として出席 (10/27) ・小和田公民館まつり (パネル展示) (2/16,17) ●学校等の環境学習の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・汐見台小学校 4 年生 (40 名) 総合学習への協力 (年間通して実施、5/18 観察会) ・小田原市立白鷗中学校への協力 (生徒会 15 名) <p>希少海浜植物について出前講座、小田原自生種の幼苗 200 株提供</p>		

団体名		発足年月	会員数 (平成 25 年 4 月 1 日現在)
桂川・相模川流域協議会 相模川湘南地域協議会 (代表者：峯谷 一好)		2000 年	47 名
活動内容	下記の通り		
ホームページ	http://katurasagami.net/ (桂川・相模川流域協議会ホームページの相模川湘南地域協議会活動報告と活動案内を掲載)		

<p>主な 活動状況 (平成 24 年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会（毎月第 2 水曜日）（11 回/年、平塚市・寒川町・茅ヶ崎市を順に会場としている） ・相模川左岸神川橋下河川敷におけるカワラノギク圃場の整備、シナダレスズメガヤの除去作業（毎月第 3 日曜日） ・総会（毎年 4 月） ●調査活動 <ul style="list-style-type: none"> ・身近な水環境の一斉調査（6 月） ・田んぼの生きもの調査（8～11 月、寒川町、平塚市、茅ヶ崎市、厚木市で実施） ●イベント・講演会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・相模川クリーンキャンペーン（5/13、茅ヶ崎市側相模川河口にて） ・相模川左岸神川橋下河川敷のカワラノギク圃場にてお花見（10/10、27） ・「寒川の河原の自然で遊ぼう」（10/20、21） 河原で石と生きもの探検、展示と遊び ・「河原のバードウォッチングとカワラノギクの観察会」（10/28） ・「相模川の上流 山梨県東部の水源域を知ろう！」（25/ 3/24） ●イベント・講演会等への参加・出展 <ul style="list-style-type: none"> ・「ひらつか緑化まつり」への出展（4/28・29） ・「ちがさき環境フェア 2012」への出展（相模川検定試験、ミミズと仲よくしよう、6/23） ・「ひらつか環境フェア 2012」への出展（7/22） ●他団体等の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・寒川町相模川美化キャンペーンへの参加（5/27、終了後シナダレスズメガヤの除去作業） ・「馬入水辺の楽校 大野遊び大会」（6/2・3、「馬入水辺の楽校」と連携） ・「相模川の河畔林を育てる会」の活動に参加 ・行谷の田んぼ作業に参加 ・さむかわエコネット自然観察部会の活動に参加 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・桂川・相模川流域協議会のシンポジウム、学習会、講演会、河川整備計画、市民部会、専門部会、総会 ・「馬入水辺の楽校」主催バードウォッチングとカワラノギク観察会（10/28） ・小出川周辺の野鳥観察及び美化活動（雨天のため自然観察指導員の小室明彦氏による講演へ変更）
-----------------------------------	---

団体名	発足年月	会員数 (平成 25 年 4 月 1 日現在)
駒寄川水と緑と風の会 (代表者：池田 尚子)	1991 年 5 月	23 名
活動内容	駒寄川流域の動植物(野鳥・昆虫・植物)を観察し、自然に親しみ、地層・遺跡についても学びます。	



<p>主な 活動状況 (平成 24 年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・定例観察会（毎月第 1 日曜日） ・風の会（毎月第 3 土曜日） ・駒寄川通年野鳥観察（毎月第 1 日曜日（原則）） ・総会（3/3） ●会報の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・「風のたより」（年 4 回発行） ●調査活動 <ul style="list-style-type: none"> ・カントウタンポポ調査（4/25） ●イベント・講演会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・緑の里親（草取り作業）（4 回/年） ●イベント・講演会等への参加・出展 <ul style="list-style-type: none"> ・「ちがさき環境フェア 2012」への出展（6/23） ・第 24 回香川公民館まつりへの出展（10/26～28） ●学校等の環境学習の支援 <ul style="list-style-type: none"> ◆総合学習への協力（5 回/年） <ul style="list-style-type: none"> ・円蔵中学校 1 年生 20 名（4/27） ・円蔵中学校 3 年生 4 名（9/26） ・鶴が台中学校 1 年生 1 クラス（10/30） ・第一中学校 1 年生 1 クラス（11/1） ・北陽中学校 1 年生 10 名（11/16） ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・環境市民会議「ちがさきエコワーク」自然環境部会への出席（毎月第 3 土曜日） ・香川公民館利用者懇談会（5 回/年） ・茅ヶ崎自然連合運営会議への出席（3 回/年）
-----------------------------------	--



団体名	発足年月	会員数 (平成 25 年 4 月 1 日現在)
相模川の河畔林を育てる会 (代表者：蔵前 かづえ)	2010 年 12 月	24 名
活動内容	茅ヶ崎市が国から占用許可されている移植林及び水害防備保安林（国有地分）を生物多様性のある河畔林として次世代に引き継げるよう、100 年の森を目指して、活動している。 河畔林周辺の自然環境の保全や外来植物の除草、野鳥観察、虫の声を聞く会等の活動に地域の人や事業者にも参加していただいている。	
主な 活動状況 (平成 24 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・隔月第 2 日曜日（6 回/年、参加延べ 65 名） 年間計画の話し合い（4 月） 移植樹林周辺の外来種の草取り（6 月） 外来種の草取り（8 月） 外来種の草取り（茅ヶ崎市工場等緑化推進協議会の方々が参加）（9 月） 野鳥観察会（12 月） ・総会（平成 25 年 2 月） ●調査活動 <ul style="list-style-type: none"> ・外来植物の除草時の植物調査（6/10）（参加者 11 名） ・野鳥観察会（12/16）（参加者 10 名） ●イベント・講演会等への参加・出展 <ul style="list-style-type: none"> ・「ちがさき環境フェア 2012」への出展（パネル展示）（6/23） 	

団体名		発足年月	会員数 (平成 25 年 4 月 1 日現在)
三翠会 (代表者：鈴木 國臣)		2000 年 4 月	15 名
活動内容	水辺に暮らす生きものの環境を守る活動を行っています。県内で絶滅が心配される渡り鳥タゲリをはじめ多くの生きものを育み、環境や防災などにも役立つ市内の水田を守るため、農家と協力して湘南タゲリ米を販売するプロジェクトを行っています。生物調査、学校教育、地産地消などにも協力しています。		
ホームページ	http://sannsuikai.eco.to/pc.html		
主な 活動状況 (平成 24 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第 2 土曜日 (原則) (15 回/年、参加者延 80 名) ●会報の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・タゲリ米通信 12 号発行 (11 月、1,000 部) ・三翠会 WEB サイト 新ブログ欄で活動紹介、 ・ツイッター@tagerimai に各 UP・メールマガジン月報 (計 37 回) ●調査活動 <ul style="list-style-type: none"> ・水生生物調査 (用水路・魚道・ビオトープ田・小出川) (10 回延 38 名) ・タゲリー斉調査 (近隣 16 箇所にて定時定点一斉調査) (12/16 参加 17 名) ●イベント・講演会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・湘南タゲリ米の里 観察会 (香川駅-小出川-タゲリ田-西久保-生産者懇談 (9/22 参加 16 名) ・タゲリ米購入者探鳥会 (目久尻川を案内) (1/19 参加 15 名) ●イベント・講演会等への参加・出展 <ul style="list-style-type: none"> ・東京バードフェスティバル 参加 (4/22,23 参加 3 名) ・環境フェア 参加 (6/23 参加 2 名) ・鶴嶺東コミセン祭タゲリ米提供パネル展示 (11/ 参加 6 名) ・梅祭初参加 (高砂緑地) (2/11 参加延 9 名) ・鶴嶺公民館祭参加出展 (3/2~4 参加 5 名) ・さぼせんワイワイ祭参加出展 (3/4 参加 5 名) ●学校等の環境学習の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・JCI 茅ヶ崎 田圃塾ミニ講座 (5/29) ・浜之郷小 5 年生 99 人 田んぼ塾 農業用水路 見学案内 (8/20) ・西浜高校ボランティア塾 出前講座 (1/16) ・シニア向け茅活イベント 活動紹介 (2/23) ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・自然再生活動 <ul style="list-style-type: none"> ・関東・水と緑のネットワーク拠点百選に選定される (8/26) ・魚道、水路、ビオトープ池の整備保全作業百選活動含 (17 回延 39 名) ・タゲリ米プロジェクト活動 <ul style="list-style-type: none"> ・宣伝、受付集計、集荷、試食会、精米出荷 10,11 月 (7 回延 30 名) ・田んぼの体験作業 <ul style="list-style-type: none"> ・草刈、田植、草取、稲刈、脱穀、粳摺等 5 月~10 月 (計 17 回延 94 名) ・マスコミ報道 (取材対応) <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川新聞・朝日新聞 9/7、茅ヶ崎市 HP に百選選定記事、 ・湘南リビング 10/6 湘南版、西湘版 タゲリ米販売記事 ・季刊誌 SORA 冬号 西久保タゲリ米農家 12/3 発売 ・市広報ちがさきに三翠会活動紹介 1 月 15 日号 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得 2 名 ビオトープ管理士、自然観察指導員 ・エコワーク、自然連合、サポセンなど関係団体会合参加、 ・各イベントの準備参加、大学院生指導等、自主参加 ・行政、JA、業界、公的団体との交渉、受託等 		

*総活動 106 日以上 参加延 394 名以上 報告書提出 32 件

団体名	発足年月	会員数(平成 25 年 4 月 1 日現在)
清水谷を愛する会 (代表：佐々木 三智雄)	1991 年 9 月	38 名
活動内容	高い自然度の清水谷をこのままの状態の後世に残すための保護・保全の活動	
主な 活動状況 (平成 24 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・定例観察会（毎月第 1 日曜日）（11 回） ・保全活動（毎週火曜日）（51 回） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ●会報の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・「清水谷通信」の発行（7 月、3 月、編集会議 5 回） ●調査活動 <ul style="list-style-type: none"> ・水質調査（6/19、8/28、11/13） ・水生生物調査（7/24） ・放射線量測定（7/24、1/22） ●イベント・講演会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・餅つき（12/8） ・七草会（1/20） ●イベント・講演会等への参加・出展 <ul style="list-style-type: none"> ・「みどりフェア 2012」への参加（4/22） ・「ちがさき環境フェア 2012」への出展（6/23） ・「清水谷特別緑地保全地区指定お祝い会（ちがさきエコワーク自然環境部会主催）」への参加（5/19） ●学校等の環境学習の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・滝の沢小学校（2 年生）に谷戸の話（5/17） ・鶴が台中学校訪問（総合学習打ち合わせ）（5/25） ・小出小学校総合学習への協力（3 年生 2 クラス）（5/30） ・萩園中学校総合学習への協力（1 年生 30 名）（6/21〔事前下見 6/5〕） ・円蔵中学校総合学習への協力（3 年生 4 名）（6/29） ・小出小学校総合学習への協力（2 年生 56 名）（7/3） ・小出小学校先生（13 名）研修会案内（9/11） ・円蔵中学校総合学習への協力（2 年生）（9/26） ・鶴が台中学校総合学習への協力（1 年生 36 名）（10/30） ・第一中学校総合学習への協力（1 年生 30 名）（11/1〔事前打ち合わせ 10/26〕） ・北陽中学校総合学習への協力（1 年生 15 名）（11/16） ●他団体等の観察会等への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ライフタウン自治会（15 名）案内（8/5） ・桂川・相模川流域協議会（25 名）案内（8/16） ・みどり審議会倉本委員を案内（10/30） ・「生きのこれ川」の応援団（3 名）案内（12/18） 	

	<ul style="list-style-type: none"> ●その他 ・写真集の製作（編集会議 3 回） ・ちがさきエコワーク自然環境部会への出席（1 回） ・赤羽根十三宮保全(6/11) ・みどり審議会傍聴、環境審議会傍聴 ・景観みどり課訪問・打ち合わせ
--	---

団体名		発足年月	会員数 (平成 25 年 4 月 1 日現在)
生物多様性研究会 (代表者：大谷 房江)		2011 年 4 月	8 名
活動内容	自然の仕組みを理解して自然に関わる人を増やすために、生きものと自然の関係や保全生態学の基本などをわかっていただく啓蒙活動を実施。新しい媒体を使った啓蒙活動にもチャレンジ中。		
主な 活動状況 (平成 24 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 ・第 3 水曜日 ●会報の発行 ・メールマガジン生物多様性研究会を試作発行。 ・平成 24 年度 6 月より開始したネット配信 TV「湘南 nature チャンネル」の企画制作配信に協力。 下記 URL より湘南 nature チャンネル過去放送の録画をご覧ください。 http://shonan-stream.ceramic-boy.com/category/nature/		

団体名		発足年月	会員数 (平成 25 年 4 月 1 日現在)
茅ヶ崎野外自然史博物館 (代表者：熊澤 泰信)		2001 年	36 名
活動内容	地域にある身近な自然の楽しさ・素晴らしさ・不可思議さを伝え、その大切さを多くの方々と共有し、次の世代へ伝える活動をしています。 専門的な知識と経験を有したスタッフとともに、観察会、市内小中学校の自然授業のお手伝い、谷戸や湿地の保全活動を行なっています。		
ホームページ	http://yagaihaku.eco.to/con/index.html		
主な 活動状況 (平成 24 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 ・総会 (4/15) ・運営会議 (7/29、10/21、25/2/17) ●イベント・講演会等の実施 ・自然観察会 (4/15・7/29・9/2・10/21・25/2/17、柳谷にて実施) ・行谷湿地の保全作業 (6/1・6/17・8/22・12/2・25/1/31・25/3/17) ●学校等の環境学習の支援 ◆総合的な学習対応 ・北陽中学校 1 年柳谷自然観察会 (4/17) ・鶴嶺小学校 3 年小出川自然観察会 (5/14・5/17、両日とも 2 クラス) ・松林中学校 1 年柳谷自然観察会 (5/18) ・北陽中学校 3 年行谷自然観察会 (6/25) ・鶴が台中学校 1 年柳谷自然観察会 (10/30) ・第一中学校 1 年柳谷自然観察会 (11/1) ・今宿小学校 1 年小出川自然観察会 (25/1/23) 		

団体名		発足年月	会員数 (平成 25 年 4 月 1 日現在)
柳谷の自然に学ぶ会 (代表者：野田 晴美)		1992 年 10 月	30 名
活動内容	県立茅ヶ崎里山公園とその周辺で植物、昆虫、鳥類などの自然観察会を行っています。また、水生生物、カエルなどの調査活動をしています。		
ホームページ	http://yagaihaku.eco.to/con/index.html		
主な 活動状況 (平成 24 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・定例自然観察会（毎月第 4 日曜日、(公財)神奈川県公園協会と共催）（1 1 回） ・里山会議（会誌編集会議を含む）（14 回） ●会報の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・「緑のまち」（年 3 回発行） ●調査活動 <ul style="list-style-type: none"> ・水質・水生生物調査（奇数月に水質と水生生物の種類、個体数を調査） ・植物調査（3 回） ・カエル調査（20 回/年、4、5 月、1～3 月に卵塊数、生育を調査） ・野鳥調査（毎月野鳥の種類を調査） ●学校等の環境学習の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・小出小学校 4 年生総合学習への協力（6/15、7/13、10/18、11/9、11/30、延べ人数 300 人） ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・(公財)公園協会主催の保全部会に参加（毎月） ・県藤沢土木事務所主催の工事説明会に参加（2 回） ・茅ヶ崎市指導工事説明会に参加（2 回） ・茅ヶ崎里山公園運営会議に参加（2 回） ・茅ヶ崎市環境政策課主催「第 3 期 里山はっけん隊！」に協力（2 回） ・20 周年記念誌発行 		




【環境まちづくり部会】

団体名		発足年月	会員数 (平成 25 年 4 月 1 日現在)
エコ・シティ茅ヶ崎マイバッグ推進会議 (代表：岩澤 裕)		2003 年 4 月	8 名
活動内容	エコ・シティ茅ヶ崎マイバッグ推進会議は、消費者、商業者、行政が協力して、マイバッグを推進しています。温暖化防止、茅ヶ崎のゴミ減量など環境と経済の元気アップを目指しています。		
ホームページ	http://www.chigasaki-cci.or.jp/mybag/		
主な 活動状況 (平成 24 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・推進会議（10 回/年、参加者延べ 70 名） ●会報の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・マイバッグ小冊子（2 回/年） ●調査活動 <ul style="list-style-type: none"> ・お買い物袋アンケートの実施（1 回/年） <p>市内公立小学校 4 年生および市内公立中学校 2 年生を対象に、買い物における袋（マイバッグ、レジ袋）の利用状況等を調査。 小学校 4 年生児童 1,722 名 中学校 2 年生 1,865 名 ・大型店レジ袋辞退者数の集計（年間延べ 約 4,800,000 名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●イベント・講演会等の実施 		




	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ・ウィーク（マイバック利用促進強化週間）の開催（2回/年） ・毎日がマイバックデーとして、マイバック利用を呼び掛けています。（大型店12店舗、商店96店舗） ●イベント・講演会等への参加・出展 ・「ちがさき環境フェア2012」への出展（パネル展示）（6/23） ・「消費生活展」への出展への出展（パネル展示）（1/21～25）
--	--

【環境学習部会】

団体名	発足年月	会員数 (平成25年4月1日現在)
イオンリテール(株)イオン茅ヶ崎中央店 (代表者：店長 積山 敏也)	—	—
活動内容	①店舗周辺清掃活動（月1回4～5日間） ②リサイクル活動推進（牛乳パック、アルミ缶、食品トレイの回収） ③子どもたちへの環境学習推進（イオンチアーズクラブ） 現会員：15名（小学1年生～中学2年生）	
主な活動状況 (平成24年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●定例会 <ul style="list-style-type: none"> ・従業員による清掃活動（月50～80名） ・イオンチアーズクラブ定例会（月1回） ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・イオンチアーズクラブにて寒川広域リサイクルセンター見学（参加者13名） ・リサイクルをテーマに壁新聞作り 	

【一般会員】

団体名	発足年月	会員数 (平成25年4月1日現在)
東京ガス(株)神奈川西支店 (代表者：中濱 一芳)	—	—
活動内容	—	
主な活動状況 (平成24年度)	<ul style="list-style-type: none"> ●会報の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・当支店にて月1回発行する社内報にて、茅ヶ崎市における環境活動を紹介。（環境フェア、エコ・クッキング） ●イベント・講演会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・親子エコ・クッキング教室の開催（3/30、参加者8組16名、女性センターにて） ●イベント・講演会等への参加・出展 <ul style="list-style-type: none"> ・「ちがさき環境フェア2012」への出展（6/23、パネル展示、スタンプラリー、おもしろ環境教室） ●学校等の環境学習の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・市内小・中学校への出張授業実施（冷熱温暖化、燃料電池、エコ・クッキング） 小学校6校（柳島小、小和田小、東海岸小、浜之郷小、松浪小、鶴が台小：37クラス 1,263名）、中学校1校（円蔵中：3クラス78名） 	

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名: 茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	・野菜、花の栽培	1年	・草花を育て自然に親しむ。 ・野菜を育て食育に関わる。	計画通り実施できた。	3
	・野菜や花の栽培と観察	2年	・栽培活動を通して、自然を大切に作る心の育成。	自然を大切に作る心が育ちつつある。	2
	・カイコの飼育と観察 ・野菜や花の栽培と観察	3年	・飼育活動を通して、命を大切に作る心の育成。 ・栽培活動を通して、自然保護を考える。	・カイコの世話を親身に行い、命の尊さを学んだ。 ・自然保護の心が芽生えつつある。	2
	・環境事業センター、ごみ選別処理施設、最終処分場の見学 ・寒川浄水場の見学 ・理科の栽培活動	4年	・ごみについて考え、削減の実行を始める。 ・飲み水ができる過程を学習し水の大切さを実感する。 ・植物の生長や自然に興味を持つ。	・ごみ減量の方策を考え、できることを始めている。 ・何気ない水のありがたさを感じた。 ・育てる工夫を考え、植物の立場に立つことができた。	2
	・田んぼ造りと稲作り ・野菜や花の栽培と観察 ・メダカの飼育と観察 ・自動車工場の見学	5年	・稲作を体験し、食物の大切さを身をもって理解する。 ・栽培と観察そして、メダカの飼育から命のつながりを理解し、命の尊さを学ぶ。 ・工場内の環境に対する配慮を理解し生活に活かす。	・お米ができるまでの苦勞を痛感し、食物の大切さを理解した。 ・植物と動物に共通する命のつながりを理解し、命の尊さを学んだ。 ・工場内の環境に対する配慮を知り、日常に活かすことができた。	2
	・ジャガイモの栽培と観察 ・国語「ともに生きる町」の学習	6年	・植物や生き物が生息できる環境を調べ、自然に親しむ。 ・光合成を学ぶ。 ・読解を通して、環境の大切さを学ぶ。	・体験、読み物、科学的な思考等様々な方向からの自然環境、環境保護について学ぶことができた。	3
電気、水、物を大切に使う活動	・節電の取り組み	全学	・春から夏にかけての教室の窓側と廊下、階段、トイレの消灯	・予定通り実施できた。	3
	・無駄な電力を使わない活動	全学	・教室移動の際の消灯 ・待機電力を0にする。	・徹底できなかった。	2
	・泡のハンドソープや石鹸の節約	全学	・泡式石鹸の使い方の徹底	・保健委員会の児童が各教室で説明したが、十分に徹底できなかった。	2
捨てるごみを減らす活動	・使用済みの紙類の回収	全学	・使用済みの紙や段ボールを回収しリサイクルにだす。	・予定通り実施できた。	3
	・落ち葉を腐葉土化する活動	全学	・落ち葉を清掃後回収し、腐葉土として土に返す。	・放射線の問題のため、落ち葉は燃やせるごみとして処理した。	1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立鶴嶺小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	育てよう（朝顔、サツマイモ、チューリップ）	1	身近な自然や動植物とのふれあいを通して、自然に対する思いや感性を養う。	実施	3
	秋の虫を探そう（虫とり）	1	同上	実施	2
	秋の実を使って楽しもう（木の実探し、拾い、おもちゃ作り）	1	同上	実施	2
	ミニトマトを育てる	2	野菜の栽培を通して、自然の中で作物を作ることの大切さを体感させる	実施	2
	小出川自然観察（講師の加こ小出川の植物や虫について話してもらい散策する）	3	子供たちが関心を持って小出川の自然に触れさせる	実施	3
	健康な暮らしとまちづくり	4	ごみ処理と利用、水はどこからくるのかを知る	実施	2
	浄水場下水終末処理施設の見学	4	施設の仕組みやそこで働く人々の努力や工夫を理解する	実施	2
	環境事業センター、資源物選別処理施設の見学	4	リサイクルの過程を理解し、資源ごみの意義を高める	実施	3
	育てよう（インゲン豆、イネ）	5	栽培を通して自然の中で作物を作ることの大切さを体感させる	実施	2
	命のつながり（メダカ飼育）	5	生き物とのふれあいを通して、自然に対する思いや感性を養う	実施	3
	地球にやさしい消費者になるために	6	一般的な環境問題に対する対応策を自覚させ、自ら行動するようにする	実施	2
	地球の環境と日本	6	子ども自身が様々な具体例を調べ意識を高める	実施	3
	生き物と自然環境	6	具体的な事例をもとに、より深く調べ理解させる。	実施	3
電気、水、物を大切に使う活動	水道水を出しっぱなしにしない	全校	身近な取り組みを通して、環境問題への意識を高めるとともに、自分たちができることを実践しようとする態度を育てる	実施	3
	使っていない教室等の電気をこまめに消す	全校	同上	実施	2
	持ち物に名前を書いて大切に使う	全校	同上	実施	2
	ノートや鉛筆などの文房具は最後まで大事に使う	全校	同上	実施	3
捨てるごみを減らす活動	給食の牛乳パックを洗ってリサイクルに出す	全校	同上	実施	3
	給食は食べられる量にして残さないようにする	全校	同上	実施	2
	プリントや紙などをごみとして捨てない	全校	同上	実施	2
その他（自由）					

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

(様式5)

全校環境活動報告書

平成24年度

学校名： 茅ヶ崎市立松林小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	草花や野菜を育てよう	全学年	自然に触れ、自然の大切さを知る。肥料作り、土作りを通して、食物連鎖を学ぶ。	自然に触れ、体験を通して自然の大切さを知ることができた。	3
	米作り	全学年	地域の特徴を生かした栽培活動を通して、地域の環境を守る態度を育む。	稲を育てることで、自然に対する思いや感性を養い、食料の大切さに気付くことができた。	3
	地球の環境問題について関心を持ち学習する。(水資源・電気・下水・ごみ)	4年	限りある資源を大切に使い、ゴミを減らし、節水等実践する態度を育む。	資源を大切に使い、ゴミの減量・節水等を心がけることができた。	2
	住みよい暮らしと環境について関心を持ち実践する。	5・6年	よりよい生活ができるよう生活を見直し、自分たちができる生活環境の改善を行う。	家庭科などを通して、生活の見直し、改善等が図れた。	3
	赤羽根山に行き自然と触れ合う。	1・2年 仲よし	自然と触れ合い、自然のおもしろさ、不思議さを感じ、自然を知る。	実際の体験を通して、自然と触れ合うことができた。	3
	花壇づくりや飼っている動植物の世話をする。	全学年	学校の環境づくりをし、心を豊かにする。	各学級や児童委員会で年間を通して活動を行い、よりよい環境作りを心がけた。	3
	要らなくなった物を利用し、作品作りをする。	1・2・3年	物をリサイクルし、有効利用し物を大切にすることを育む。	まだ使えるものを捨てずに有効利用し、ものの大切さを知ることができた。	2
大 電 切 気 に ・ 使 水 う ・ 活 物 動 を	使っていない教室やトイレの照明をこまめに消す。	全学年	資源を大事にする。	不在場所の消灯を各学級で指導し、つけっぱなしが減った。	2
	水道の使用後は、蛇口をしっかり閉める。	全学年	資源を大事にする。	各学級で指導を行った。また、当番職員が校内巡回時チェックをした。	3
	コピー・印刷は、必要最小枚数とし、両面刷りにする。	全学年	資源を大事にする。	全体の使用枚数が減った。また、裏紙再利用も行うことができた。	2
	持ち物には、名前を書き、最後まで大切に使う。	全学年	資源を大事にする。	児童委員会で全校に呼びかけをした。また、授業参観等では展示を行った。	2
	給食の牛乳パックを洗う時は、できるだけ少ない水で洗う。	全学年	牛乳パックの資源ごみ回収と、使用する水の量について考え資源を大事にすることを学ぶ。	必要最小限の水を使うよう各学級で指導を行った。	3
捨 て る ゴ ミ を 減 ら す 活 動	ゴミは分別収集をし、リサイクルする。	全学年	資源を大事にする。	茅ヶ崎市のゴミ処理方法に従い、分別を徹底した。	2
	給食の食べ残しをしないようにする。	全学年	好き嫌いを無くすことにより、資源を大事にする。	完食表彰などを行い、残食量を減らすことができた。	2
(その他)	牛乳パックのリサイクル。	全学年	ゴミの削減、資源の有効利用。	すべて回収し再利用した。また、牛乳パックペルマーク運動に参加した。	3

※評価点 ・よくできた-3 ・大体できた-2 ・あまりできなかった-1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立西浜小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	アサガオ・チューリップ・サツマイモを育てる。	1年	身近な植物を育てることを通して、自然を大切にする気持ちを養う。	概ね実施できた。	2
	ミニトマト・サツマイモ・野菜を育てる。	2年	野菜を育てる活動を通して、自然とふれあい、自然を大切にする気持ちを養う。	概ね実施できた。	2
	オクラを育てる。 植物のつくりを調べる。	3年	種や花の観察を通して、自然のすばらしさを知り、自然の知恵を学ぶ。	概ね実施できた。	2
	稲を育て、米を作る。	5年	体験を通して、作物を育てる環境や食環境に対する意識を育てる。	地域の方の支援をいただき、大変よく実施できた。	3
	ゴーヤを育て、緑のカーテンとして利用する。	1年 仲よし	自然の恵みに感謝する気持ちを養う。	省エネの意識が高まった。	2
	草や虫を探す。	2年	ふれあいを通して、自然に対する興味・関心を高める。	概ね実施できた。	2
	カイコを育てる。虫の体を調べる。	3年	身近な虫の観察を通して、自然への興味を深める。	概ね実施できた。	2
	公害について考える	5年	公害について学び、現在について考える。	環境についての考えが深まった。	2
電気、水、物を大切に使う活動	上下水道について学習する。	4年	見学や学習を通して、水を大切に使う意識を育てる。	資源の大切さについて意識を深めた。	2
	エコキャップを集めよう。	全校	環境委員を中心に活動し、身近なことで環境や世界の人々のためになる活動をする。	概ね実施できた。	2
	教室の電気を天候に合わせて消灯できる。	全校	身近なことで省エネに取り組む。	概ね実施できた。	2
捨てるごみを減らす活動	ごみについて学習する。	4年	見学や学習を通して、ゴミを減らすための方法を考え、実践していく態度を育てる。	概ね実施できた。	2
	海岸を清掃しよう	6年	海岸をきれいにするには、どうしたらよいかを考える。	今年度は、津波の件もあり、実施していない。	1
その他	花壇づくり	環境委員	校内に花壇を作り、花を育てる。	概ね実施できた。	2

※ 評価点： ・よくできたー3 ・大体できたー2 ・あまりできなかったー1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立小出小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	生き物のくらしと自然環境の学習	5 6	地球全体の環境保全の大切さを学ぶ	関心を持つようになった児童もみられる。	1
	家庭科での学習を通し環境保全を意識する	5 6	自分たちの生活をより良い環境で送ろうという意識を持たせる	学んだことを日々の生活の中で活かそうとしている	3
	一人一人草花を育て観察する	1	身近な自然に触れ、それらと環境の関わりを知る	自分で毎日世話することにより、環境との関わりを学んだ。	2
	学年園で野菜を育て観察し、食べる	2	野菜作りをしながら自然と触れ合い環境との関わりを知る	植物の成長の様子を学ぶことができた。	2
	清水谷から学ぶ	2	地域の自然環境に関心を持たせる	「清水谷を愛する会」の協力を得、大切にしていこうとする意識が高まった。	3
	学区探検	3	地域の自然環境に関心を持たせる	学区の自然や土地利用に対する理解が深まった。	3
	柳谷から学ぶ	4	地域の自然環境に対する関心を高めさせる	これからも大切にしていこうとする意識を持つことができた。	3
電気、水、物を大切に使う活動	電気のスイッチをこまめに消す	全学年	電気を大切にすることを行動から学ばせる	教室を留守にする時にはスイッチを切るようになった。	3
	水道の蛇口をしっかりしめる	全学年	水を大切にすることを行動を通し学ばせる	たまに水が漏れている蛇口を見かけることがあった。	2
	寒川浄水場・最終処分場の見学	4	水道水が作られる様子や最終処分場が抱える問題点を考えさせる	自分の生活を振り返り、自分にできることを考え、実践しようとする姿が見られるようになった。	3
捨てるごみを減らす活動	紙のリサイクル(牛乳パック、トイレットペーパーの芯、ダンボール等)	全学年	捨てればごみ、いかせば資源になることを学ばせる	児童委員会、PTAも加わり、毎月活動し、それが定着している。	3
	プラスチック類と紙類の分別	全学年	ごみと資源物のちがいを意識させる	教室に2つのごみ箱を用意し、分別させている。	3
その他(自由)					

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

(様式 5)

全校環境活動実施報告書

24年度

学校名：茅ヶ崎市立松浪小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点	
環境についての学習	リサイクルについて学習する。	6年	リサイクルの仕組みを知る。	総合的な学習の時間を活用し取り組んだ。	3	
	エネルギーについて学習する。	5年	水力発電の仕組みを知る。	総合的な学習の時間を活用し取り組んだ。	3	
	水資源の循環について学習する。	4年	水の大切さを知る。	総合的な学習の時間、社会科の時間に取り組んだ。	3	
	地域の自然環境を観察する。	3年	地域を知る。	社会科の「町たんけん」で取り組んだ。	3	
	松浪池の生物を学習する。	2年	身近な生き物を知る。	生活科で観察、図工科で絵画に取り組んだ。	3	
	あさがおの世話をする。	1年	植物の成長を知り、自然への関心を高める。	生活科の時間を活用し、観察に取り組んだ。	3	
電気、水、物を大切に使う活動	使用していない教室やトイレなどの電気をこまめに消す。	全学年	節電の大切さを知る。	電気のスイッチに注意を促す文章を張り付けた。放送などでも呼びかけた。	3	
	水道の蛇口を閉める	全学年	節水の大切さを知る。	清掃のときのバケツ使用の徹底を図った。	3	
	文房具を大切に使う。	全学年	物の大切さを知る。	落とし物がなくなるように取り組んだ。	3	
捨てるごみを減らす活動	エコキャップ運動に参加する。	全学年		美化委員会を中心に取り組んだ。	3	
	給食の残食調べを実施する。	全学年		年間4回実施し、残食量が減るように取り組んだ。	3	
その他(自由)						

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成 24年度

学校名:茅ヶ崎市立梅田小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点	
環境についての学習	太陽エネルギーの学習	4	太陽エネルギーの活用を通して環境について考える。	大震災後の計画停電等の経験から、クリーンエネルギーの学習に関心高く、真剣に学んでいた。	2	
	社会科の学習で熱帯雨林の伐採や砂漠化についての学習	6	グローバルな視点で環境を考える。		2	
	日本各地の環境に即した生活	4	日本の自然環境に即した人々の工夫や苦労があることを知る。	環境と人々の生活の関連について、具体的な事例を元に学んだ。	2	
	社会科の学習で日本の漁業と環境についての学習	5	漁業と環境・資源について学習する。	赤潮発生や森林保護と海洋保護の関係性を学んだ。	2	
	東日本大震災と環境	4・5・6	自然の力や放射能についての学習。	朝日新聞を用いて、大震災や放射能について学んだ。	3	
電気、水、物を大切に使う活動	学校全体で節電	全	電気の消費量の削減に努める。	消灯の徹底や温水便座の未使用等に取り組む。	3	
	家庭科の学習で生活のエコ化	5	生活全体のエコ化を推進する児童の育成。	エコクッキングの学習等をおこなう。	2	
	浄水場見学	4	水資源の重要性を学ぶ。	浄水場の見学を通して水の大切さを知る。	3	
	ダム見学	4	水資源の重要性を学ぶ。	ダムの見学を通して水の大切さを知る。	2	
捨てるゴミを減らす活動	ごみ分別の学習	全	分別方法の変更の意義を学ぶ。	プラごみの分別を通して資源について考える。	3	
	家庭科の学習で資源の活用	5	生活を地球環境保全の視点で考える。	グループ学習等で、自分の生活を見つめなおした。	2	
	ごみ処理を知る	4	資源としてのごみを意識化する。	ごみ処理の学習を通して、分別や資源ごみについての理解を深めた。	3	
その他(自由)						

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立香川小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	生き物のくらしと自然環境の学習をする	5 6	地球全体の環境保全の大切さを学ぶ	3種類の新聞にまとめることができた。インターネットは活用できず。	2
	宮ヶ瀬ダムと水とエネルギー館を見学する	4	水道水の源流をたずね、水の大切さに気づかせる	宮ヶ瀬ダムの見学はできたが、水とエネルギー館の見学はできず。	2
	学区探検や小出川探検をする	3	自分の住む地域の自然環境について関心を持つ	地域の土地利用や自然について知ることができた。	3
	草花や小動物の世話をし観察する	2	身近な自然との触れ合い、それと環境との関わりを知る	草花の栽培や世話はできたが、小動物の飼育はできなかった。	2
	学年園で野菜づくりをし、観察する	1	野菜づくりをして自然と触れ合い野菜嫌いを減らす	植物の成長の様子を学ぶことができた。野菜嫌いは減らなかった。	2
	家庭科で学習を通して環境を意識する	5 6	自分たちの日頃の生活をよりよい環境のもとで送らせる	学校で学んだことを家庭の生活の中でも活かしている。	3
	柳島終末処理場と環境事業センターの見学をする	4	下水が浄化されたりごみ処理の様子を知る	環境保全のために行われている努力を知ることができた。	3
電気、水、物を大切に使う活動	(節電)電気のスイッチをこまめに消す	全	電気を大切にすることを行動を通して学ぶ	不要な電気が使われていることがとても少なくなった。	3
	(節水)水道の蛇口をしっかりしめる	全	水を大切にすることを鼓動を通して学ぶ	水もれをしている蛇口がほとんどなくなった。	3
	(省資源)持ち物に名前を書いて大切ににする	全	資源を大切にすることを行動を通して学ぶ	無記名の落とし物がまだまだ多い。	1
	寒川浄水場と水道記念館を見学する	4	水道水が作られる過程を知り、水を大切にさせる	水の大切さを知ることができた。	3
捨てるごみを減らす活動	(リサイクル)ペットボトルキャップなどを回収する	全	資源を循環利用することが環境保全につながることを知る	回収するための箱がすぐにいっぱいになる。	3
	(リサイクル)プラごみを選別して集める	全	プラごみは資源物であることに気づく	紙ごみとプラごみを意識して選別するようになった。	3
その他(自由)					

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立浜須賀小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	緑を増やす工夫をする。	なよし 緑組1	緑を増やし、少しでも地球環境の役に立つ	〈仲良し〉野菜を植えるなどして緑を増やした。	2
	カエル池を大切に する	全 環境 委員	カエル池にすむ生き物や植物の生態を維持する	〈環境委員〉カエル池の清掃を行った。 〈全学年〉ごみを捨てない、拾う指導を行った。	3
	学校の中の自然を探し、動植物にふれあう	2	自然を大切にする気持ち を育てる	生活科の学習を通して動植物にふれあった。	3
	地域の自然環境について、関心を持って学習する	3	地域にある自然に目をむけ、自然を大切にする心 を育てる	地域の公園へ行き、地域の自然は目を向けることができたが、自然環境についての学習はできなかった。	2
	使用済み資源のリサイクルや廃棄物の処理について学習する	4	ごみについての学習を通して、自分にできることを考える	環境事業センターへ行き、ごみの処理のしかたについて学習した。	2
	地球の環境問題について関心を持って学習する	5	地球規模での環境を学び、自分でできることについて考え、実行していく	総合的な学習で環境問題について調べ学習を行った。	2
	エネルギーについて学習する	6	電気、自然エネルギーなどを学習し、環境で配慮した生活を心がける	エネルギーについての学習は実施していない。	1
電気、水、物を大切に使う活動	使っていない教室や廊下の電気はこまめに消す	全	むだな電気は使わない意識を高める	クラスで係をつくるなどして、こまめに消すようにしていた。	3
	水道は必要な量だけを使い、手洗いの時など、流しっぱなしにしない	全	必要な量ということを意識し、消費する量や時間についても考える	牛乳パックを洗う時、クラスによって水の使い方がバラバラだった。	2
	水道を使ったあとは、蛇口をきちんとしめる	全 1	いつも心がけていくこととして身につける	全学年ほとんど実地できたが、トイレの水が止められていないこともあった。	2
	文房具等は大切に使い、落し物がないように持ち物は帰る名をする	全	物を大切にする心を養う	4月当初はできていたが、新しい物を買ったときは名前を書かない子が多かった。落し物も目立った。	1
捨てるごみを減らす活動	プラごみと燃えるごみに分別する	全	自分たちでできる一番身近な活動として、リサイクル資源を意識する	教室でごみの分別を行っているので子供たちも自分たちで分別している。	3
	紙の裏面使用を心がけ、むだな紙を出さない工夫をする	全 給食 委員	普段から使っている紙を再利用することで、無駄をなくす意識を育てる	子供たちだけでなく、教職員も心がけてきている。	2
	食事は食べ残しをしないようにする	5 6	自分の食べられる量を加減しながら、バランスよく全部食べきる	ほとんどのクラスで、つい半分は食べられるようになってきた。	2
その他(自由)	環境を考え、家庭生活を工夫する	5 6	資源を有効に利用する工夫について考える	リサイクルの学習を通して、自分たちで工夫して考えることができるようになってきている。	2

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立鶴が台小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	野菜の栽培	1	植物の大切さに気づく	生活科で活動した。	3
	野菜の栽培	2	植物の大切さに気づく	生活科で活動した。	3
	植物の栽培	3	自然環境の大切さに気づく	理科で実施した。	3
	毎日の生活(ごみ・水)について考える	4	自然環境の大切さに気づく	社会科で実施した。	3
	環境にやさしい車を考える	5	クリーンなエネルギーを考える	社会科で実施した。	3
	地球環境について考える	6	生物と地球環境の共存について考える	理科で実施した。	3
電気、水、物を大切に使う活動	毎日の生活(水の使い方)について考える	4	自然環境の大切さに気づく	社会科で実施した。	3
捨てるごみを減らす活動	毎日の生活(ごみ)について考える	4	自然環境の大切さに気づく	社会科で実施した。	3
その他(自由)					

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立柳島小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	① 緑を増やす工夫をする。	緑化委員	緑を増やし、少しでも地球環境の役に立つ。	自然に気を配り、エコを考えた生活環境になった	3
	② 植物の栽培と収穫。アサガオ	1年	自然を大切にすゝる気持ち育てる。	アサガオを育て、種を取り、次につなげた	3
	③ 野菜の栽培と収穫。ミニトマト	2年	自然を大切にすゝる気持ち育てる。	野菜嫌いがなくなった	3
	④ 野菜の栽培と収穫。環境学習	3年	自然を大切にすゝる心を育てる。	野菜を中心として、食の大切さを知った	3
	⑤ 身近な環境学習と施設見学	4年	身近な問題からできることを考えさせる。	施設見学が有効的で、エコの仕組みを知った。	3
	⑥ ゴミの最小化や洗剤を考える。	5年	身近な問題を実践して取り組む。	実習を通して、毎日の生活を見直すことができた	3
	⑦ 地球環境と自然の力を学ぶ。	6年	天然ガスや電気など、地球規模で考えさせる。	これからの地球について問題意識を高めた	3
電気、水、物を大切に使う活動	① 使っていない電気をこまめに消す。	全学年	無駄な電気は使わない意識を高め、大切に使うとする意識を育てる。	教室や廊下、トイレの電気をこまめに消すことが習慣化された	2
	② 水道は、流しっぱなしにしない。	全学年	必要な量を意識させ、消費する量等を考える。	洗い方を含め、必要量を考えさせた	3
	③ 蛇口をきちんと閉める。	全学年	いつも心掛ける意識づけと身につけさせていく。	外の蛇口などにも意識づけができた	2
捨てるごみを減らす活動	① 給食のパン袋や日常のプラごみと燃えるごみに分別する。	全学年	自分たちでできる身近な活動として、リサイクル資源を意識する。	プラごみと燃えるごみを分別するために、ごみ箱も分けて回収した。	3
	② 紙の両面印刷で無駄な紙を出さない。	全学年	紙を再利用することで、無駄をなくす意識を育てる。	すぐに捨てずに、再利用する努力を心がけさせた	2
	③ 食べ残しをしない。	全学年	量の加減を考え、バランスよく食べる。	昼の放送等で呼び掛けた。	3
その他(自由)	エコキャップを集めよう。	全学年	資源の有効活用がひとに役立つことを知る。	回収容器を配置し、生活に密着させた	3

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立小和田小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	サツマイモのつるでリース作り	1	ごみになるようなものを利用してものを作る	サツマイモを掘った後、ツルをリースにし、飾り付けをした。	3
	工作で材料を無駄なく使う	2	工作で材料を無駄なく使う	落ち葉を拾って再利用、牛乳パックやトイレットペーパーの芯を使っておもちゃを作った。	3
	自然環境学習	3	日常生活で出来るエコ活動	小和田小の水のエコ、木・紙の無駄のない使い方、ものを大切にする具体的な行動について考えた。	3
	寒川浄水場、環境事業センターの見学	4	健康なくらしのためにごみや下水がどのように処理・利用されているか学ぶ	浄水場、事業センターを見学して学びを深め、学校で振り返りを行った。	3
	自然環境学習（総合）	5	自然環境と自分自身とのつながりを考え、環境に関心を持たせる	クラスごとに自然環境をテーマに調べ、学んだことを伝え合った。	3
	エコクッキング・環境新聞(家庭でできるエコ)	3	無駄なエネルギーを使わず料理を体験する身近で出来るエコ活動を考える	エコクッキングは外部講師を呼び、クラスごとに調理した。(節電・節水)	3
電気、水、物を大切に使う活動	電気パトロールの実施	環境委員会	節電とその啓発	毎日校舎内のパトロールを行い(放課後)、電気がついていないか、コンセントがさしっぱなしになっていないかチェックした。	3
	節電	全職員・児童	節電とその啓発	明るい時間は電気を消し、節電に努めた。	3
	ペットボトルキャップの回収	環境委員会	ごみの削減と環境について考えるきっかけづくり	学校内の数カ所に回収ボックスを設置し、各家庭から持ってきてもらい、回収した。	3
	雨水タンク利用の水やり	全職員・児童	節水とその啓発	水やりの際に雨水タンクにたまった水を利用するよう声かけを行った。	3
捨てるごみを減らす活動	裏が紙ごみは再利用する	全職員・児童	ごみの削減、意識向上	各クラスごとに声かけし、実施した。	2
	ごみは小さくして出す	全職員・児童	ごみの削減、意識向上	各クラスごとに声かけをし、実施した。	2
その他(自由)					

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立円蔵小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	季節を探そう	1年	近くの公園や千の川の付近に出かけ、四季の変化や生き物、植物の変化など知る。	児童が興味を持って、探索活動をし、一人ひとりが季節の変化を感じ取っていた。	3
	フラワーロードづくり	2年	学校前道路の植え込み等に花を植え、道路環境を良くする。	小・中・高連携と協力の結果、花の咲くきれいな歩道ができた。	3
	千の川自然観察	3年	毎月川を観察し、動物、植物、風景の変化を記録する。	千の川との関係づくりでは、実際に中に入れず、他学年のクラブ活動の中で千の川に関わる活動体験をした。	1
	教室環境調査	6年	過ごしやすい教室環境について考える。	節電対策の中で、窓の開閉等で対応した。	2
電気、水、物を大切に使う活動	水育	4年	日常の水使用量と水の汚染について知り、水の大切さを学ぶ。 (サントリーの水育)	水は生きものにとって大切なものであり、限りある資源であることを知り、大切に使う態度と、汚染の怖さについて理解させることができた。	3
	水はどこへ	4年	浄水場と水道記念館の見学。浄水場について学習活動をした。	川から取水した水が飲み水として利用できるまでの流れを理解することで、水を大切にしようとする態度が育った。	2
捨てるごみを減らす活動	ゴミはどこへ	4年	環境事業センター、下水処理場の見学をし、ごみ減量ポスターを作成した。	各施設の見学を通して、ごみを減らす工夫の必要性を感じたり、できるだけ水を汚さない工夫について考えたりできた。	3
その他(自由)	クラス・エコ活動	全学年	毎月エコ目標をつくり、達成のために取り組む。	日々の学校生活の中でできる節電・節水・ゴミの分別に努めた。特に給食をはじめ、プラゴミと燃えるゴミの分別に心がけた。 掃除では節水のためバケツの利用を心がけた。	3
	委員会活動	5・6年	校内にエコ活動推進のポスターを掲示する。	手書きのポスターが親近感を持たせ、呼びかけができた。	2
	エコキャップ	全学年	エコキャップ運動を推進する。	家庭や地域の方々との協力で順調に継続できた。	3

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名: 茅ヶ崎市立今宿小学校

取組項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	栽培活動	1～2年	植物を育てることで自然に目をむけ大切にする気持ちを育てる。	・花、作物を育てることができた。	3
	栽培活動	3～4年	植物を育てることで自然に目をむけ大切にする気持ちを育てる。	・花、作物を育てることができた。	3
	上下水道の学習	3～4年	上下水道を学習することにより水等の資源を大切にする心を育てる。	・上水道の見学を行い、水の資源の大切さを学習した。	3
	ごみの学習 ごみ処理場見学	4年	ごみを学習することにより資源を大切にする心を育てる。	・ごみの学習を行うことで、資源を大切にする心を育てた。	3
	栽培学習	5年	植物を育てることで自然に目をむけ大切にする気持ちを育てる。	・花、作物を育てることができた。	2
	理科(生き物のくらしと自然環境)	6年	自然環境に目をむけ大切にする気持ちを育てる。	・花、作物を育てることができた。	2
電気、水物を大切に使う活動	使っていない教室やトイレの電気をこまめに消す	全校	全校で節電の徹底。	・使っていない教室やトイレの電気をこまめに消す消すことができた。	3
	長時間使用していない電気機器のコンセントを抜く。	全校	全校で節電の徹底。	・長時間使用していない電気機器のコンセントを抜くことができた。	3
	水道を使ったあとは蛇口をきちんと閉める。	全校	全校で節水の徹底。	・水道を使ったあとは蛇口をきちんと閉めることができた。	3
	そうじのときバケツに汲んだ水で雑巾を洗う。	全校	全校で節水の徹底。	・そうじのときバケツに汲んだ水で雑巾を洗うことができた。	2
	持ち物に名前を書いて大切にし、最後まで使う。	全校	資源の有効活用	・持ち物に名前を書いて大切にし、最後まで使う努力をした。	3
	印刷やコピーの無駄をなくす。	教職員	資源の有効活用	・印刷やコピーの無駄をなくすことができた。	2
捨てるごみを減らす活動	リサイクル分別収集区分及び容器を整える。	教職員	資源の有効活用	・リサイクル分別収集区分及び容器を整えることができた。	3
	捨てるごみとリサイクル資源をきちんと区別する。	教職員	ごみの減量化	・捨てるごみとリサイクル資源をきちんと区別することができた。	3
	給食は食べられる量にして残さないようにする。	全校	ごみの減量化	・給食は食べられる量にして残さないようにする努力をした。	3

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立室田小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	栽培活動	3・4年 1・2年	植物を育てることで自然に目を向け大切にす る気持ちを育てる。	作物・花を育てることができた。	2
	栽培活動 (バケツ稲)	5年	植物を育てることで自然に目を向け大切にす る気持ちを育てる。	稲を育てることができた。	3
	ごみの学習	4年	ごみを学習することにより資源を大切にす る心を育てる。	ごみの学習を行うことで、資源を大切にす る心を育てた。	3
	寒川浄水場	4年	上下水道を学習することにより水等の資源を 大切にする心を育てる。	寒川浄水場の見学をすることにより水資源の 大切さを学習した。	3
	生き物のくらしと自然環境	6年	自然環境に目を向け大切にする気持ちを育てる。	植物等を育てることができた。	3
電気、水、物を大切に使う活動	印刷やコピーの無駄をなくす。	教職員	資源の活用利用	印刷やコピーの無駄をなくす ことができた。	3
	使っていない教室やトイレの電気をこまめに消す。	全校	全校で節電に努める。	使っていない教室やトイレの電気をこまめに消すよう努力したが課題が残った。	2
	水道を使った後、蛇口をきちんと閉める	全校	全校で節水に努める。	水道を使った後は、蛇口をきちんと閉めることができた。	3
	持ち物に名前を書いて大切にし、最後まで使う。	全校	資源の活用利用	持ち物に名前を書いて大切にし、最後まで使うことができた。	3
	使用しないコピー機印刷機の電源を抜く	全体	待機電力の節電	待機電力の無駄を省くよう職員全体で取り組んだ	3
捨てるごみを減らす活動	給食は食べられる量にして残さないようにする。	全校	ゴミの減量	給食は食べられる量にして残さないようにすることができた。	3
	リサイクル分別収集区分及び容器を整える。	教職員	資源の有効利用	リサイクル分別収集区分及び容器を整えることができた。	3
	捨てるゴミとリサイクル資源をきちんと区別する。	教職員	ゴミの減量	捨てるゴミとリサイクル資源をきちんと区別することができた。	3

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかつた－1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

学校名：茅ヶ崎市立東海岸小学校

平成24年度

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	環境事業センターや浄水場、終末処理場等の施設を見学する。	4年	施設見学を通して、環境への意識を高め、資源の再利用等自分たちでできることを考えさせ、実践させる。	見学を行い環境への意識を高め、資源の再利用について意識を高めることができた。	3
	バケツ稲を栽培する。	5年	稲を育てることで、自然に対する思いや感性を養うとともに、食料の大切さに気付かせる。	(実施せず)	
	茅ヶ崎海岸自然観察と海岸清掃(東海大学藤吉研究室との連携)	6年	海岸・防砂林を観察し、また海岸清掃を行うことで、環境保護の重要性に気付かせる。	大学生とともに活動を行い、環境保護の重要性に気づけた。	3
電気、水、ものを大切に使う活動	教室や廊下の電気をこまめに消す。	全学年	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	晴天時は窓側を消灯するなどして使用量を抑えた。	2
	廊下の蛍光灯数を最小限に抑える。	全学年	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	蛍光灯を減数し、使用量を抑えた。	3
	使用していない教室、トイレなどの電気を消す。	全学年	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	スイッチに「節電」のシールを貼り不使用時消灯の意識を高めた。	2
	水道の蛇口をしっかり閉める。	全学年	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	各学級で指導を行った。また、当番職員が校内巡回時チェックをした。	2
	清掃、手洗い、牛乳パック洗浄の際、必要以上の水を使わない。	全学年	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	必要最小限の水を使うよう各学級で指導を行った。	2
	花壇等の水まきには、雨水の活用(雨水君)を図る。	全学年	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	(放射線の関係で使用せず)	
	自分の所有物を大切に扱い、なくしたり、落としたりしないようにする。	全学年	ものを大切に使う意識を高める。	児童委員会で全校に呼びかけをした。また、授業参観等では展示を行った。	1
	ポスターや校内放送を利用し、節電、節水省資源等の呼びかけを行う。	全学年	限りある資源を大切に使うことを啓発する。	様々な啓発ポスターを掲示した。	2
捨てるゴミを減らす運動	紙をゴミとして捨てず、再利用する。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	学校全体で古紙を分別し再利用した。	2
	牛乳パックを適切に処理する。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	すべて回収し再利用した。また、牛乳パックベルマーク運動に参加した。	3
	ゴミの分別を徹底する。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	茅ヶ崎市のゴミ処理方法に従い、分別を徹底した。	2
	ゴミ箱に分別がわかりやすいような表示をする。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	校内のゴミ箱すべてに表示を行った。	3
	給食の残量を減らすよう心掛ける。	全学年	食材を大切に、残食を減らす意識を高める。	パクパク週間、完食表彰などを行い、残食量を減らすことができた。	3

※ 評価点： ・よくできた—3 ・大体できた—2 ・あまりできなかった—1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立浜之郷小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	野菜・花の栽培と観察	1	・自然にふれあい親しむ ・調理し食物の大切さを 知る	・定期的に手入れと観察ができた。 ・保護者の協力を得、調理できた。	3
	野菜の栽培	2	・作物の成長過程を知る ・調理と食物の大切さを 知る	定期的な手入れと、1回の収穫祭を実施できた。	3
	町たんけん	3	地域～茅ヶ崎の自然に 触れる	方面別に3回実施できた。	3
	ごみロボ学習	4	リサイクルについて学 習する	農業従事者の方から直接話を聞くことができた。	3
	浄水場、環境事業センターの見学	4	環境保護意識を高める	計画どおり2ヵ所の見学を実施できた。	3
	水田での稲作学習	5	1年間を通して共同 体・農業・自然について 考える	地域協力者と6回の連携を持ち、共同作業を実施できた。	3
	日光修学旅行	6	環境保護意識を高める	自然・文化遺産に触れ、意識を高めることができた。	3
電気、水、物を大切に使う活動	電灯・換気扇をこまめに消す	全	節電	毎日の校舎内巡回で消灯されていないことが数回あった。	2
	水道の蛇口をしっかり閉める	全	節水	良く実行できた。	3
	物を大切に使う	全	省資源	紙類を大切に使うことができていた。	3
捨てるごみを減らす活動	給食を残さない	全	ごみ減量	毎月2回程度、食べ残しの多い日があった。	2
	ごみの分別に気をつける	全	リサイクル	良く分別できていた。	3
その他(自由)	ヤギの飼育	5 6	リサイクル、省資源	ふんの堆肥化ができた。	2
	みどりのカーテン	4	節電	効果があった。	3

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立緑が浜小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	環境事業センターや浄水場、終末処理場等の施設を見学する。	4年	施設見学を通して、環境への意識を高め、資源の再利用等自分たちでできることを考えさせ、実践させる。	公共施設の見学を通して学んだことを学校生活にて生かしていた。	3
	バケツ稲を栽培する。	5年	稲を育てることで、自然に対する思いや感性を養うとともに食材の大切さに気づかせる。	児童の意識、行動に変化があった。	3
	家庭科の学習を通して、環境を意識した生活について学ぶ。	6年	自分たちの日ごろの生活を振り返り、よりよい生活環境について考える。	児童の意識、行動に変化があった。	3
電気、水、物を大切に使う活動	教室や廊下の電気をこまめに消す。	全学年	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	電気のスイッチの点灯についての意識が高まった。	2
	廊下の蛍光灯数を最小限に抑える。	全学年	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	電気のスイッチの点灯についての意識が高まった。	3
	使用していない教室、トイレなどの電気を消す。	全学年	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	電気のスイッチの点灯についての意識が高まった。	3
	水道の蛇口をしっかりと閉める。	全学年	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	水の出っぱなしがなくなった。	3
	清掃、手洗い、牛乳パック洗浄の際、必要以上の水を使わない。	全学年	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	児童の意識、行動に変化があった。	3
	自分の所有物を大切に扱い、なくしたり、落としたりしないようにする。	全学年	ものを大切に使う意識を高める。	児童の意識、行動に変化があった。	2
	全校集会等を利用し、節電、節水、省資源等の呼びかけを行う。	全学年	限りある資源を大切に使うことを啓発する。	児童の意識、行動に変化があった。	3
捨てるごみを減らす活動	牛乳パックを適切に処理する。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	児童の意識、行動に変化があった。	3
	ゴミの分別を徹底する。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	児童の裏紙利用が増えた。	
	ゴミ箱に分別が分かりやすいような表示をする。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	児童の意識、行動に変化があった。	3
	給食の残量を減らすよう心がける。	全学年	食材を大切にし、残食を減らすよう意識を高める。	残食糧が減った。	3

※評価点： ・よくできたー3 ・大体できたー2 ・あまりできなかったー1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名： 茅ヶ崎市立汐見台小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	海であそぼう	1年	近くの海に出かけ、砂で遊ぶことを通し、漂流物などに目を向ける。	児童は興味を持って、砂遊びや探索活動をして漂流物のおもしろさを感じ取っていた。	3
	みかん山に行こう	1年 2年	みかんを育てる苦労やみかんの皮の有効活用の仕方を学ぶ。	見学を通して、みかんを収穫するまでの様々な工夫を知り、皮の活用方法に興味をもつことができた。	3
	お店・工場見学	3年	お店や工場を見学し、リサイクルについて学ぶ。	リサイクルが様々なところで行われていることを知り、自分たちの生活を見つめ直す機会となった。	2
	砂の造形	3年 5年	海の砂と親しみ造形活動を通して海的环境について考えていく。	砂の造形活動を通して、海的环境を考える機会となり、海に対する関心を高めることができた。	3
	エコクッキング	5年 6年	環境に配慮した調理の仕方を体験する。	調理実習を通して、材料・ガス・水道等の無駄のない使い方について学んだ。	3
	教室環境調査	6年	過ごしやすい教室環境について考える。	自分たちが生活する教室の過ごしやすい環境について、自分たちでできることを考え、実践した。	2
電気、水、物を大切に使う活動	水育	4年	日常の水使用量と水の汚染について知り、水の大切さを学ぶ。	水は生きものにとって大切なものであり、限りある資源であることを知り、大切に使う態度と、汚染の怖さについて知ることができた。	3
	水はどこから	4年	宮が瀬ダムを見学。ダムの必要性と水の大切さを学ぶ。	川から取水した水が飲み水として利用できるまでの流れを理解することで、水を大切にしようとする態度が育った。	3
捨てるごみを減らす活動	ごみはどこへ	4年	環境事業センターと終末処理場の見学。ごみ減量の必要性について考える。	各施設の見学を通して、ごみを減らす工夫の必要性や、できるだけ水を汚さない工夫について考えることができた。	3
	リサイクル活動	全校	クラスで燃えるごみ、資源ごみの分別収集をする活動を通して、環境について学習する。	ごみに対する関心を高め、生活の中で実践できるような意識づけの機会となった。	3

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立第一中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	地域環境学習 (里山公園自然観察)	1年	地域の環境がどのように保全されているかを知る。	ボランティアの協力により、大きな成果を上げた。	3
	ビーチクリーン活動 (海岸のごみ拾い)	3年	地域に貢献する姿勢を育てる。	日程の関係で実施できなかった。	1
	校内美化強化日の実施 (清掃時間を増やし細かなところまで清掃する)	全校	自分たちのことは自分で行う行動力をつける。	長期休業前後に大掃除を設定し取り組んだ。	2
	校舎の周りや正門付近の清掃活動	有志	所属間を高め、進んで貢献する姿勢を育てる。	ボランティア部中心に取り組んだ。	2
電気、水、物を大切に使う活動	教室や廊下の電気をこまめに消す。	全校	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	節電意識が昨年度に比べると低くなったように感じた。	2
	使用していない教室、トイレなどの電気を消す。	全校	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	節電意識が昨年度に比べると低くなったように感じた。	2
	水道の蛇口をきちんと閉める。	全校	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	節水の意識を引き続き高める必要がある。	2
	掃除、手洗い、牛乳パックの洗浄の際に必要な以上の水を使わない。	全校	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	節水の意識を引き続き高める必要がある。	2
	自分の所有物を大切に使い、忘れたり、落としたりしないようにする。	全校	物を大切に使う意識を高める。	忘れ物を取りに来ない生徒が多くみられる。	1
	ポスターや校内放送などを利用し、電気や水、石けん、トイレトーパーなどの使い方などについて適切に使用するための呼びかけを行う。	委員会活動	限りある資源を大切に使うことへの啓発を行う。	資源を大切に使う意識は定着している。	3
捨てるごみを減らす活動	エコキャップ活動を継続して行う。	全校	ワクチンの寄付活動とごみ減量をはかる。	生徒会活動として定着している。	3
	プリント類をごみとして捨てない。	全校	ごみを減量し、資源として再利用する意識を高める。	古紙の回収システムが定着している。	3
	牛乳パックを適切に処理する。	全校	ごみを減量し、資源として再利用する意識を高める。	日直や係活動として取り組んでいる。	3
	ごみの分別を徹底する。	全校	ごみを減量し、資源として再利用する意識を高める。	プラごみとの分別が徹底されていない状況がある。	2
	ポスターなどを作成し、ごみ減量への呼びかけを行う。	委員会活動	ごみ減量への啓発を行う。	整備委員会を中心に取り組んだが、十分ではなかった。	2
	ごみ箱に分別がわかりやすいような工夫をする。	委員会活動	ごみ減量を目的に工夫をこらす。	整備委員会を中心に取り組んだが、十分ではなかった。	2

※評価点： ・よくできた 3 ・大体できた 2 ・あまりできなかった 1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立鶴嶺中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	各教科の授業で学ぶ	全	自然の事物、現象に対する関心を高める、科学的な見方や考え方を養う	予定どおり各授業を実施した。	3
	総合的な学習の時間の分野別学習で学ぶ	全	地球環境問題に関心をを持たせる	予定どおり各授業を実施した。	3
電気、水、物を大切に使う活動	教室等の照明をこまめに消す	全	省エネを通して環境保護について考えさせる	整備委員会中心に呼びかける。	2
	水道の蛇口をしっかり閉める	全	省エネを通して環境保護について考えさせる	整備委員会中心に呼びかける	2
	文房具を最後まで大事に使う	全	ものを大切にすることを育む	各クラス担任中心に呼びかける	2
捨てるごみを減らす活動	530運動を行う	整備委員会	生徒が自主的に環境美化に取り組めるようにする	整備委員会中心に呼びかける	2
	ごみの分別収集と減量に努める	全	限りある資源を大切に使う心を育てる	各クラス担任中心に呼びかける	2
	エコキャップ運動	全	ポリオワクチンの寄附とごみ減量によるCO2の削減	生徒会本部役員中心に呼びかける	3
その他(自由)					

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名: 茅ヶ崎市立松林中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	環境美化学習	1年	環境保全に関心を持つ	資源物再生の学習	2
	地球環境学習	1年	自然環境への考えを深める	里山公園散策	3
	地球環境学習	2年	野外体験活動を通して考えを深める	エコクッキング体験	3
	環境美化学習	3年	地域の環境美化に貢献する	地域ボランティア清掃	2
電気・水・物を大切に使う活動	節電シールの活用	全校	節電意識を共有する	生徒会本部役員がスイッチにシールを貼る	3
	節電ポスターの掲示	全校	電気使用量を減らす	校内に掲示	3
	節水運動	全校	水の使用量を減らす	生徒会が呼びかけ運動	2
	両面印刷	職員	資源を大切にす	職員会議で周知	3
	紙類の資源化	職員	資源を大切にす	職員会議で周知	3
捨てるゴミを減らす活動	エコキャップ運動	全校	ポリオワクチンの寄付に貢献	生徒会が呼びかけ運動	3
	ゴミの分別	全校	ゴミの減量とリサイクル	学級指導で徹底	2
その他	たい肥づくり	全校	ゴミの減量とリサイクル	生徒会が呼びかけ運動	3

* 評価点: よくできたー3 大体できたー2 あまりできなかったー1

全校環境活動実施報告書

24年度

学校名：茅ヶ崎市立西浜中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境学習	江の島海洋学習	1年	地球の環境問題について、関心を持って学習する。	保護者にも手伝っていただきながら、地層や海洋環境の学習ができた。	3
	下水処理場・ゴミ処理場・最終処分場の見学	1年	ごみ処理・下水処理の現状を知る	ごみ処理・下水処理の現状を実際に見ることで、環境とのかかわりを学習した。	2
	緑のカーテンの実施	7組	環境問題についての学習	ゴーヤを植えて、緑のカーテンをつくった。	2
	キャンプ	2年	キャンプ場周辺の自然観察	愛川ふれあいの村の自然環境を観察、そこでのキャンプ生活を体験できた。	2
	ビオトープでの自然観察	全校	理科の時間での環境学習	理科の教科を中心に、微生物の観察や、食物連鎖について学習した。	2
電気、水、物を大切に使う活動	電気をこまめに消す。	全校	節電	空き教室になるときには、日直を中心に電気をこまめにけし、節電に協力できた。生徒会が、節電のポスターを掲示し、啓発運動に努めた。	3
	廊下・教室・体育館・トイレ等の蛍光灯の本数を減らす	全校	節電	節電に協力できた。	3
捨てるごみを減らす活動	牛乳パックのリサイクル	全校	ゴミの減量とリサイクル	保健委員会を中心に、ほぼ完璧にリサイクルができた。	3
	残乳を減らす	全校	ゴミの減量	冬場は残乳が多く、保健委員会を中心に、飲用を呼び掛けた	2
	ゴミの分別	全校	ゴミの減量	資源ゴミと燃えるゴミ、不燃物の分別を行った。	3
その他(自由)	紙の再利用、両面印刷の実施	全校	資源の節約	紙を有効に使い、資源の節約に努めた。	3

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立松浪中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	地球の環境問題について学習する。	2・3年	環境について学習し、自然を大切にする心を育てる。	社会の授業で地球環境について扱った。	3
電気、水、物を大切に使う活動	エネルギーについて学習する。	2・3年	エネルギーについて学習し同時にエコについての見識も深める。	社会の授業で扱いエコについての考えを深めた。	3
	家庭での節電、節水について学習し、実践する。	2年	環境問題について関心を持たせる。	家庭科で節電・節水について扱った。	3
	野外教室での自然観察会を行う。	2年	自然を身近に感じる事により、大切にする心を養う。	自然にふれあい、自然を観察する機会を取り入れた。	2
	レポートを作成し、環境保全の大切さを学習する。	1年	環境保全を推進するための問題について学習する。	理科の授業で環境レポートを作成した。	3
	図書委員会で環境に関する図書の紹介を行う。	全校	環境問題についての周知、啓発活動を行う。	折にふれ、環境に関する本を紹介した。	2
	使っていない教室やトイレなどの電気をこまめに消す。	全校	電気使用量を減らし、CO ₂ を削減する。	生徒会の呼びかけで、全校生徒に節電を心がけさせる取り組みができた。	3
捨てるごみを減らす活動	水道の蛇口をしっかり閉める。	全校	水の使用量を減らす。	生徒会の呼びかけで、全校生徒に節水を心がけさせる取り組みができた。	3
	ストーブの使用室温を下げる。	全校	資源を大切にし、CO ₂ 削減を実施する。	ストーブの使用頻度を少なくした。	2
	扇風機をこまめに消す。	全校	電気使用量を減らし、CO ₂ を削減する。	生徒会の呼びかけで、全校生徒に節電を心がけさせる取り組みができた。	3
	印刷やコピーの無駄をなくす。(両面印刷の励行)	全校	資源を大切にする。	全職員でコピーの削減や紙の再利用に努めた。	3
	捨てるゴミとリサイクル資源をきちんと分別する。	全校	ゴミの有効活用へ向けて分別方法を学び実践する。	プラゴミと燃えるゴミのラベルを明示し、ゴミの分別を心がけた。	3
その他(自由)	エコキャップ活動の実施	全校	ポリオワクチンの寄付及びゴミ削減によるCO ₂ の削減を行う。	生徒会を中心に、全校でエコキャップ運動に取り組んだ。	3
	側溝の土砂の利用	全校	ゴミの減量を行う。	側溝清掃を行い、土砂の利用に努めた。	3
	落とし物を減らすよう呼びかける。	生徒会 全校	ゴミの減量を行い、資源を大切にする。	落とし物展示会を開き、資源を大切にする心を育てた。	3

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立梅田中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	地球の自然環境の学習及び現地調査	1	自然環境についての学習及び体験学習	総合学習の中で取り組み、学習した。	2
	ごみの分別や減量化の取り組みなどを学習する	1	環境学習	総合学習の中で取り組み、学習した。	2
	地域清掃や美化活動への参加	全学年	体験学習	地域のふれあいクリーン活動などに参加した	3
	エコキャップ運動に関する学習及び参加	全学年	環境学習及び体験学習	福祉委員会や生徒のボランティアなどを中心に活動した。	2
	地球環境の問題についての学習	3	環境学習	理科の授業で学習したり、総合学習の中で取り組んだ。	2
	みどりのカーテン設置	全学年	環境学習、体験学習及び夏の暑さ対策	科学部を中心に活動した。	1
電気、水、物を大切に使う活動	未使用教室やトイレなどの消灯	全学年	節電	生徒や教職員がこまめに消灯した。	2
	水道を使った後に蛇口をきちんと閉める	全学年	節水	保健委員会を中心に呼びかけを行ったりしながら実施した。	3
	教材や運動用具などを大切に使う	全学年	省資源	こまめに呼びかけを行い大切に使用した。	3
捨てるごみを減らす活動	牛乳パックのリサイクル	全学年	リサイクル	各クラスや福祉委員会で取り組み、実施した。	3
	古紙回収ボックスの設置や裏紙の利用	全学年	ごみの減量及びリサイクル	各クラスや図書委員会で取り組み、実施した。	3
その他(自由)	エコキャップ回収運動への取り組み	全学年	ごみの減量及びリサイクル	福祉委員会や生徒のボランティアなどを中心に活動した。	3

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名: 茅ヶ崎市立鶴が台中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	自然観察会	1年	身近な自然を見つめる	里山公園・清水谷をグループで観察した	3
	海辺の観察会	2年	海辺の生き物を知る	荒崎海岸で磯の生き物を観察した	3
	茅ヶ崎市の自然	1年	身近な自然を知る	講演会を実施した	3
	花壇の手入れ	全校	花を育て環境整備・美化に努める	ボランティアを募り、植え替え、水やりを行った	3
	緑のカーテン	全校	節電意識を共有する	ボランティアを募り、水やりゴーヤの収穫を行った	3
電気・水・物を大切に使う活動	節電シールの活用	全校	節電意識を共有する	生徒会本部役員がスイッチにシールを貼る	3
	節電ポスターの掲示	全校	電気使用量を減らす	校内に掲示	3
	節水運動	全校	水の使用量を減らす	生徒会が呼びかけ運動	3
捨てるゴミを減らす活動	エコキャップ運動	全校	ポリオワクチンの寄付に貢献	生徒会が呼びかけ運動	3
その他					

* 評価点: よくできたー3 大体できたー2 あまりできなかったー1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立浜須賀中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	浜池に関心を持つ	全	自然環境について関心を持って観察し学習する	興味を持って観察する。	2
	花壇作りや水やりを行う	全	自然環境について関心を持って観察し学習する	水やりを行う	2
	校内美化に努める	全	校内環境整備	積極的な清掃活動を行う	1
電気、水、物を大切に使う活動	節電に努める	全	省エネに努める	使っていない教室やトイレの電気をこまめに消す	2
	節水に努める	全	水資源の保護	指導を使用した後に蛇口をきちんと閉める	2
	物を大切に使う	全	省資源に努める	文房具は最後まで使い教材や運動用具を大切に使う	2
捨てるごみを減らす活動	ごみの減量	全	資源ごみとの分別	プリントや紙は可燃物としない	2
	ごみの減量	教員	印刷やコピーの無駄をなくす	必要枚数の確認、裏紙の使用	2
その他(自由)	エコキャップ回収運動	全	環境美化、ワクチンの寄附	エコキャップ回収箱の設置、浜須賀会館からの回収	2

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立北陽中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	身近な環境問題について学習する	1 3	環境について学習し、自然を大切にする心を育てる	環境エネルギー館へ行き学習した。個人課題に基づき、研究を深めた。	3
	エネルギーについて学習する	1	エネルギーについて学習し同時にエコについての見識も深める	環境エネルギー館へ行き学習を深めた。	3
	家庭での節電、節水について学習し、実践する	1	環境問題について関心を持たせる	環境エネルギー館へ行き学習した。	3
	総合的な学習の時間に自然観察会を行う	1 3	自然を身近に感じる事により、大切にする心を養う	春、秋と県立里山公園において自然観察会を行った。	3
	レポートを作成し、環境保全の大切さを学習する	1 3	環境保全を推進するための問題について学習する	総合的な学習の時間を使って、諸施設を訪問しレポートを作成した。	3
	図書委員会で環境に関する図書の紹介を行う	全校	環境問題についての周知、啓発活動を行う	図書室を有効利用し、環境問題への理解を深めた。	3
電気、水、物を大切に使う活動	使っていない教室やトイレなどの電気をこまめに消す	全校	電気使用量を減らし、CO ₂ を削減する	廊下の常時消灯やこまめな消灯を実践した。	3
	水道の蛇口をしっかり閉める	全校	水の使用料を減らす	学級指導を通して全校生徒に意識をさせた。	3
	ストーブの使用室温を下げる	全校	資源を大切にし、CO ₂ 削減を実施する	衣服による調節を心がけさせ、灯油使用量削減に努めた。	3
捨てるごみを減らす活動	印刷やコピーの無駄をなくす(両面印刷の励行)	全校	資源を大切にする。	裏面印刷を励行、実践した。	3
	捨てるごみとリサイクル資源をきちんと分別する	全校	ごみの有効活用へ向けて分別方法を学び実践する	ごみの分別に取り組んだ。	3
	エコキャップ活動の実施	全校	ポリオワクチンの寄附及びごみ削減によるCO ₂ の削減を行う。	生徒会本部役員を中心にエコキャップの回収に務めた。	3
	側溝の土砂の利用	全校	ごみの減量を行う	放射線の関係で側溝の作業をしなかった。	1
	落とし物を減らすよう呼びかける	全校	ごみの減量を行い資源を大切にする。	学級委員会等が各クラスに呼びかけた。	2
その他(自由)					

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立中島中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	地球の環境について学習する	全	環境学習	保健と社会を使って学びを深めた	3
	エネルギーについて学習する	全	環境学習	保健と社会を使って学びを深めた	3
	リサイクルや廃棄物について学習する	全	環境学習	保健と社会を使って学びを深めた	3
電気、水、物を大切に使う活動	教室やトイレの電気をこまめに消す	全	節電	チャレンジデーを数回設け、意識付けを行った。日々の生徒会の見回り。	3
	水道の蛇口をきちんと閉める	全	節水	チャレンジデーを数回設け、意識付けを行った。日々の生徒会の見回り。	3
	両面印刷、裏紙利用の励行	全	省資源	日々の呼びかけ	3
捨てるごみを減らす活動	紙はごみとせず資源に回す	全	省資源・リサイクル	日々の呼びかけ・ポスター掲示	3
	ごみの分別を確実に行う	全	省資源・リサイクル	日々の呼びかけ・ポスター掲示	3
その他(自由)	ペットボトルのふたを集め役立てる(ワクチン)	全	貢献活動	生徒会の呼びかけ	3

※ 評価点： ・よくできたー3 ・大体できたー2 ・あまりできなかったー1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立円蔵中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	地球環境学習（川や谷の自然観察、防砂林の保全）	1年	観察や体験をすることで環境について関心を持つ。	関係団体の協力により、多くの成果を上げた。	3
	地球環境美化学習（下水処理・水道・資源物の再生の学習、エコクッキング体験）	1年	自然環境の保全がどのようにされているかに関心を持つ。	関係団体の協力により、多くの成果を上げた。	3
	地球環境学習（川の調査、自然観察、竹林の手入れ、樹木のはたらき、川のはたらき）	2年	体験、学習をすることで環境について関心を深める。	関係団体の協力により、多くの成果を上げた。	3
	地球環境学習（自然観察～清水谷、里山公園）	2年	自然環境の保全について考えを深める。	関係団体の協力により、多くの成果を上げた。	3
	地域環境美化活動（「きれいきれいマNDER」～登校しながらのごみ拾い）	全学年	放置されたごみについて関心を持つ。	生徒会本部を中心に働きかけ、実施生徒が増えつつある。	2
	地域環境美化活動（「えくぼの日」～地域のごみ拾い、草むしり、花壇の整備等）	有志	自分にできることを率先して行い、ボランティア精神を学ぶ。	毎回多数が参加し、少ないときでも50名、多いときには100名を超える参加者がいる。	3
電気、水、物を大切に使う活動	明るさを考え、教室や廊下の電気をこまめに消す。（減CO ² 大作戦）	全校	電気使用量を減らしCO ² を削減することで地球環境を考える。	節電のため、廊下・教室の蛍光灯を取り外した。	3
	使用していない教室の電気を消す。（減CO ² 大作戦）	全校	電気使用量を減らしCO ² を削減することで地球環境を考える。	意識化され、使用していない教室や廊下などの電気はこまめに消している。	2
	水道を使った後蛇口をきちんと閉める。	全校	水の使用量を減らす。	ポスターを作成し、周知に努めている。	2
	印刷やコピーの無駄をなくす。	全校	資源を大切に使う。	意識化されている。	2
	プリントなどをごみとして出さない。	全校	ごみの減量。	意識化されている。	2
	落とし物を減らす。	全校	ごみの減量。	呼びかけ等もっと訴えかけたい。	2
捨てるごみを減らす活動	エコキャップ運動を継続して行っていく。	全校	ポリオワクチンの寄付とごみ減量によるCO ² の削減。	取り組みとして定着し、成果をあげている。	3
	ごみの分別収集（捨てるごみとリサイクル資源を分別する。）	全校	ごみの減量とリサイクル	日常的に取り組んでいる。	3

※評価点： ・よくできた 3 ・大体できた 2 ・あまりできなかった 1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立赤羽根中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	学校の周辺の自然について調べる(理科)	1	身近な動植物の存在を知る	1年生の理科で実施	3
	水質の維持について考える(理科)	1	水溶液から全ての溶質を取り出すことが困難であることを知る	1年生の理科で実施	3
	水資源の循環について学習する(理科)	2	雲ができ雨が降るしくみの発展として考えさせる	2年生の理科で実施	3
	エネルギー資源について調べる(理科)	3	限られたエネルギー資源の有効利用を考える	3年生の理科で実施	3
	自然の恩恵や自然災害について知る(理科)	3	自然界に人間が正しくかわっていくことの大切さを知る。	3年生の理科で実施	3
	健康と環境(保健体育)	2	空気、水、生活排水やゴミ処理について考える	2年生の保健の授業で実施	3
	サツマイモの栽培(総合的な学習の時間)	1	栽培をとおして自然環境と食について考える	1年生の総合的な学習の時間で実施した。植え付け、水やり、収穫、試食を行った	3
電気、水、物を大切に使う活動	照明をこまめに消す	全	電力消費を抑える	生徒会を中心に呼びかけを行った	2
	水道の蛇口をしっかりと閉める	全	水の使用量を抑える	清掃時を中心に水の使用を少なくし、蛇口をしっかりと閉める習慣を推進した	3
	文房具を最後まで大事に使う	全	資源を大切に使う	遺失物展示用の棚等を用いて、生徒に戻しやすくした	2
捨てるごみを減らす活動	印刷物の裏紙を再利用する。(再利用であることが分かるスタンプを利用)	職員	紙の使用量を抑える	印刷ミスや使用済みの紙を所定の場所に集めて再利用した	2
	規準服のリサイクル	全	卒業等で不要になる規準服を少なくする	保護者会を中心に回収し、学校行事等で展示・配付	3
その他(自由)	環境美化活動	全	校舎内の清掃、ワックスがけ	全生徒が積極的に取り組めた	3
	緑化運動	全	緑の羽根募金	厚生委員を中心に全校で取り組めた	2

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成24年度

学校名：茅ヶ崎市立萩園中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	地球環境学習 (理)水の中の生物	1年理	観察や体験をすることで環境について関心を持つ。	授業で扱い、それなりの成果をあげている。	3
	地球環境美化学習 (下水処理・水道・資源物の再生の学習、里山、小出川)	1年総合	自然環境の保全がどのようにされているかに関心を持つ。	関係団体の協力により、多くの成果をあげた。	3
	地球環境学習 (川の生物、自然観察、樹木の働き、川の働き) (理)食物連鎖、ビオトープ	3年	体験、学習をすることで環境について関心を深める。	授業で扱い、それなりの成果をあげている。昼休み等に校内のビオトープへ行き、水辺の生物等を観察する生徒が増えた。	3
	地球環境学習 (理)大地の成り立ち	1年	自然環境の成り立ちと保全についての考えを深める。	授業で扱い、それなりの成果をあげている。	2
	クリーン整美萩中 (校舎内) 前後期1週間ずつ	全校	放置されたごみについて関心を持つ。	生徒会本部役員と美化委員会が中心になり実施した。	2
	地域清掃(全校) 地域のごみ拾い	全校	自分のできることを率先して行いボランティア精神を学ぶ。	全校生徒だけでなく地域の方々との協働作業で実施し、成果をあげた。	3
電気、水、物を大切に使う活動	明るさを考え、教室や廊下の電気をこまめに消す。 (減CO ₂ 大作戦)	全校	電気使用量を減らしCO ₂ を削減することで地球環境を考える。	その日の天候によって、教室や廊下の電気をついたり消したりし、多くの成果をあげた。	3
	水道を使った後蛇口をきちんと閉める。	全校	水の使用量を減らす。	保健委員会がポスターを掲示したり周知に努めた。	2
	印刷やコピーの無駄をなくす。プリントなどをごみとして出さない。	全校	資源を大切にすること。ごみの減量。	印刷物は両面刷りに心掛けたり意識化されてきているが、まだ十分成果が表れてはいない。	2
	みどりのカーテン夏場(生徒会) (校舎内の温度を下げ、過ごしやすくする工夫。)	全校	エコを考え、自分たち環境を整え、自分たち環境を作る。	地域の方々との協働でゴーヤ、ヘチマ、ひょうたんのカーテンを作ったが校舎内の室温を下げるまでには至らなかった。	2
捨てるごみを減らす活動	エコキャップ運動	全校	ペットボトルのキャップを回収しポリオ付ワクチンを十分寄付する。	取り組みとして定着し、地域の方々との協力も得られ、かなりの成果をあげている。	3
	ごみの分別収集 (捨てるごみとリサイクル資源を分別する。)	全校	ごみの減量とリサイクルを行う。	ゴミの分別収集には日々取り組んでいるが、なかなかゴミの減量にまで結びついていない。	2

※評価点： ・よくできた：3 ・大体できた：2 ・あまりできなかった：1